

Ⅲ 健康政策課事業実績

1 健康づくり推進事業

(1) 健康づくり推進協議会

目的：保健事業の計画の作成に関する事、保健事業の企画及び運営に関する協力、健康づくりの推進に関する事について協議検討し、市民の健康づくりの推進を図る。

委員：13名(関係機関団体の代表・学識経験者等、任期2年)

内容：第1回 令和4年8月(書面開催)

協議／・保健師の地区活動と健康推進員活動の見直しについて
・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について

第2回 令和5年2月

報告／・健康ふじ21計画Ⅲについて
・令和5年度歯周病検診の見直しについて
・令和5年度がん検診事業の見直しについて
・高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施について
・新型コロナワクチン接種体制について

協議／・「20時までに食べよう夜ごはん運動」の推進について

2 健康ふじ21計画推進事業

(1) 健康ふじ21計画の普及啓発

ア メディア等と連携協働した健康情報の提供

・富士ニュース「健康特別便」 毎月2回 年間23回掲載

イ 簡易健康器具の設置

・車いす用体重計、自動血圧計、肺模型の設置等

ウ パネル展示・懸垂幕の掲示

・パネル展示／フィランセ西館1階ロビー(通年)
・懸垂幕の掲示／フィランセ西館(通年)

(2) 健康ふじ21計画の進捗管理

ア 健康ふじ21計画推進事務局会議

目的：健康ふじ21計画を着実に推進していくため、事業の進捗状況や目標の達成状況などの共有化を図り、必要な対応策などについて検討する。

メンバー：健康政策課、地域保健課職員

実施回数：2回

3 市民健康行動支援事業

(1) ふじ健康ポイント・ふじさん青春マイレージ

ア ふじ健康ポイント

目的：ふじ健康ポイント事業は、市民の健康寿命を延伸するために、スマートフォンアプリ（以下、「アプリ」という。）を使用し、インセンティブを付与することにより、健康無関心層を取り込みながら、広く市民に歩くことに重点をおいた健康づくりを促すことを目的とする。また、アプリを通して収集した情報を活用し、市民の健康増進に役立てることを目的とする。

内容：市民に無料で使用できるアプリを提供し、アプリ内で歩数等に応じたポイントを付与し、月 1,000 ポイントを獲得した市民のうち、毎月抽選で 30 名以上に Amazon ギフト券 1,000 円分を付与する。市民の参加を促すために、各種印刷物を作成する。アプリを通して収集した歩数データ及び各種健康データを分析する。

対象：富士市に在住または在勤、在学の人

方法：スマートフォンアプリ

開始日：令和 2 年 10 月 1 日から開始

実施状況： (単位：人)

区分 年度	参加者人数	1,000P 達成者 延べ人数	当選者 延べ人数
令和 2	2,423	2,628	200
3	5,109	8,541	410
4	7,036	10,919	400

イ ふじさん青春マイレージ

目的：市民の健康づくりや疾病予防のための生活習慣改善の取り組みと、積極的な社会参加を促すことで、日々いきいきと生活する青春度(健康度)の向上を図る。

内容：運動や食事などの健康づくりのための行動と、地区行事やイベント・ボランティアなどの社会参加を行うことでポイントを得、日々積み重ねたポイントが規定のポイントに達した人が特典を受けられる制度であり、令和元年度をもって終了した。

対象：20 歳以上の市民(在勤・在学含む)

方法：用紙またはウェブシステム

特典：①達成者全員に、協力店舗で各種サービスを受けられる「ふじのくに健康いきいきカード」を交付。

②達成者のうち抽選で景品を贈呈

実施状況： (単位：人)

区分 年度	実人数※	延人数	内訳	
			シート	ウェブサイト
平成 27	685	983	848	135
28	709	1,296	1,015	281
29	809	1,380	997	383
30	515	1,144	687	457
令和元	661	1,382	868	514

(2) 健康教育

ア 運動講座

目的：運動体験を通して生活習慣病予防のための運動の重要性を知り、日常生活に運動を継続的に取り入れることができる。

対象：市内在住、原則74歳以下の市民で、
・体重が多い、腹囲が大きい人

・血圧・脂質・血糖のいずれかが異常値の者 など
 内 容：運動・栄養の講話、運動実技、体力測定
 スタッフ：健康運動指導士、保健師、管理栄養士
 会 場：フィランセ
 実施状況： (単位：回・人)

年度	区分	実施回数	参加実人数	参加延人数
平成 30		9	71	140
令和元		9	65	174
2		3	38	45
3		—	—	—
4		7	55	56

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

イ 糖尿病予防講座

目 的：HbA1cが高い等、糖尿病発症リスクの高い者やその家族を対象に、生活習慣の改善点を明確にし、その具体的な方法について理解する。

対 象：市内在住の74歳以下の者で、

- ・HbA1c 5.6%以上の者
- ・血縁者に糖尿病の者がいる者
- ・治療中で医師より血糖値改善のために教室を紹介された者(治療中の者は情報提供書にて医師の指示を確認する)。

内 容：糖尿病について、糖尿病予防の食事や運動のポイントの講話、昼食試食、運動の実技
 スタッフ：保健師、管理栄養士、健康運動指導士

会 場：フィランセ

実施状況：

年度	区分	実施回数	参加実人数
令和2		2	19
3		—	—
4		4	52

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

ウ その他健康教育

実施状況 (単位：回・人)

内 容	回 数	参加者数
生活習慣病	3	118
食生活	3	95
合計	6	213

(3) 健康相談

ア 市民健康相談・市民栄養相談

目 的：生活習慣や食生活に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資する

- 対 象：・特定健康診査等受診後、生活習慣改善指導の必要な者
 ・健康教育(各教室)受講者で、その後のフォローが必要な者
 ・その他、相談・指導が必要な者

内 容：健康に関する個別相談
 スタッフ：保健師・管理栄養士（地域保健課含む）
 会 場：フィランセ
 実施状況：随時実施

(単位：人)

区分 年度	相 談 内 容				相 談 結 果		
	育児相談	生活習慣改善	その他	合 計	助言指導	経過観察	他機関紹介
平成 30	0	69	0	69	45	24	0
令和元	0	53	0	53	30	23	0
2	0	58	0	58	30	27	1
3	1	59	3	63	21	39	3
4	0	51	0	51	21	29	1

イ その他健康相談

(単位：人)

区分		年度	平成 30	令和元	2	3	4
個別健康相談			2,792	3,065	64	59	53
電 話 相 談	一般相談		254	108	54	82	284
	特定健診事後電話相談		30	89	165	262	268
	特定保健指導対象者相談		263	196	116	96	78
合 計			3,339	3,458	399	499	683

※特定保健指導対象者相談：特定保健指導は実施せず、保健指導を行った件数を計上

(4) 訪問指導

目 的：国民健康保険被保険者で、特定健診未受診者に対し、受診勧奨のための訪問をおこな
 い、受診率の向上を図る。

対 象：国民健康保険被保険者

内 容：特定健診及びがん検診の受診方法の案内

スタッフ：保健師、看護師、管理栄養士

実施状況：

(単位：人)

区分		年度	平成 30	令和元	2	3	4
国保特定健康診査 未受診者訪問	実人数		148	160	—	135	164
	延人数		148	160	—	135	164

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

4 歯科保健（8020推進事業）

（1）8020歯科検診

目的：生涯を通じた歯の健康管理のために、定期検診の必要性和むし歯や歯周病予防に対する意識を高め、80歳で20本の歯の保持を目標とした「8020運動」を推進する。

対象：20歳以上の市民

内容：歯科医師による歯の健康チェック、歯科衛生士による検診結果説明

スタッフ：歯科医師、歯科衛生士

会場：フィランセ 歯科検診室

実施回数：年13回（歯周病検診と同日実施）

実施状況：

令和4年度

（単位：人）

年代	区分 利用者数	結果		
		異常なし	要指導	要医療
20代	1	0	1	0
30代	2	1	0	1
40代	3	2	1	0
50代	9	0	2	7
60代	10	1	0	9
70代	16	5	2	9
80代	1	0	0	1
合計	42	9	6	27

※令和5年度より歯周病検診が個別検診に移行することに伴い、本事業は令和4年度で終了した。

（2）歯と口の健康週間事業

目的：この週間は、歯と口の衛生に関する正しい知識を普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって健康の保持増進に寄与する。

会場：フィランセ西館

主催：富士市歯科医師会・富士市・富士市教育委員会

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

（3）住民歯科会議

目的：健康ふじ21計画Ⅲに基づき、歯科保健に関する施策を推進するため、協議検討をする。

内容：医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士、学校関係者、養護教諭、栄養士、事業所関係健康推進会、学識経験者、市民 計14名の委員による会議を年2回開催した。

実施状況：

（単位：回・人）

区分 年度	回数	参加 延人数	検討事項等
平成30	1	13	「かかりつけ歯科医」を持つために考えられること・「オーラルフレイル」について
令和元	1	13	オーラルフレイル予防の効果的なPRについて
2	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
3	1	14	8020歯科検診（歯周病検診）の個別検診への移行について
4	2	10	オーラルフレイルの啓発（書面開催）、オーラルフレイルチェックリストの活用

4 歯科保健（8020推進事業）

（1）8020歯科検診

目的：生涯を通じた歯の健康管理のために、定期検診の必要性和むし歯や歯周病予防に対する意識を高め、80歳で20本の歯の保持を目標とした「8020運動」を推進する。

対象：20歳以上の市民

内容：歯科医師による歯の健康チェック、歯科衛生士による検診結果説明

スタッフ：歯科医師、歯科衛生士

会場：フィランセ 歯科検診室

実施回数：年13回（歯周病検診と同日実施）

実施状況：

令和4年度

（単位：人）

年代	区分 利用者数	結果		
		異常なし	要指導	要医療
20代	1	0	1	0
30代	2	1	0	1
40代	3	2	1	0
50代	9	0	2	7
60代	10	1	0	9
70代	16	5	2	9
80代	1	0	0	1
合計	42	9	6	27

※令和5年度より歯周病検診が個別検診に移行することに伴い、本事業は令和4年度で終了した。

（2）歯と口の健康週間事業

目的：この週間は、歯と口の衛生に関する正しい知識を普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって健康の保持増進に寄与する。

会場：フィランセ西館

主催：富士市歯科医師会・富士市・富士市教育委員会

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

（3）住民歯科会議

目的：健康ふじ21計画Ⅲに基づき、歯科保健に関する施策を推進するため、協議検討をする。

内容：医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士、学校関係者、養護教諭、栄養士、事業所関係健康推進会、学識経験者、市民 計14名の委員による会議を年2回開催した。

実施状況：

（単位：回・人）

区分 年度	回数	参加 延人数	検討事項等
平成30	1	13	「かかりつけ歯科医」を持つために考えられること・「オーラルフレイル」について
令和元	1	13	オーラルフレイル予防の効果的なPRについて
2	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
3	1	14	8020歯科検診（歯周病検診）の個別検診への移行について
4	2	10	オーラルフレイルの啓発（書面開催）、オーラルフレイルチェックリストの活用

(4) 歯の健康講演会

目 的：市民に対し、歯の健康づくりに関する正しい知識を普及啓発する。
会 場：フィランセ西館大ホール
内 容：演題『お口は健康の入り口』 歯と全身の健康の関係について
講 師：歯科医師
参加者数：43 人

5 自殺対策事業

(1) ストレス相談

目的：こころの健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言指導を行い、こころの健康管理に資する。

対象：仕事・人間関係・家族関係等に関する不安やストレス、心の問題等について相談を希望する者。

相談員：公認心理師、(相談日以外：保健師)

会場：富士市フィランセ

実施状況：

(単位：回・件)

区分 年度	回数	相談者年代								合計	再掲		保健師対応	
		10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明		受診 勧奨	電話 相談	来所 相談	
平成30	17	2	3	9	8	9	8	4	0	43	3	25	15	
令和元	18	0	2	7	11	10	11	7	0	48	3	11	7	
2	21	0	7	7	10	12	7	11	0	54	3	23	3	
3	20	3	2	7	6	16	4	12	0	50	2	25	3	
4	19	1	5	9	8	11	7	8	0	49	3	8	3	

(2) こころの健康講演会

目的：精神保健福祉や自殺対策への理解を促進するため、こころの健康づくりや精神疾患に関する講演会を開催する。

内容：こころと栄養 ～マインドフルに生きる～ 医師による講話

対象：一般市民

会場：富士市文化会館 ロゼシアター

参加人数：97人

(3) 人材養成研修 こころのゲートキーパー

目的：多くの市民が「こころのゲートキーパー」になることで、家庭、職場、地域など誰もが身近な人に関心を持ち、支え合う環境をつくることで自殺予防を図る。

内容：自殺の現状とこころの健康、こころのゲートキーパーの役割、DVD 視聴

実施状況：

(単位：回・人)

区分		年度	平成 30	令和元	2	3	4
実施回数			8	7	5	4	7
養 成 者 数	一般公募		28	13	14	9	27
	市職員		62	68	53	53	40
	民生児童委員		0	0	0	0	0
	健康推進員		283	0	100	0	266
	企業		0	3	0	21	22
	関係団体		38	48	8	0	0
学生		38	38	0	41	0	
合計			449	170	175	124	355

5 自殺対策事業

(1) ストレス相談

目的：こころの健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言指導を行い、こころの健康管理に資する。

対象：仕事・人間関係・家族関係等に関する不安やストレス、心の問題等について相談を希望する者。

相談員：公認心理師、(相談日以外：保健師)

会場：富士市フィランセ

実施状況：

(単位：回・件)

区分 年度	回数	相談者年代								合計	再掲		
		10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明		受診 勧奨	電話 相談	来所 相談
平成30	17	2	3	9	8	9	8	4	0	43	3	25	15
令和元	18	0	2	7	11	10	11	7	0	48	3	11	7
2	21	0	7	7	10	12	7	11	0	54	3	23	3
3	20	3	2	7	6	16	4	12	0	50	2	25	3
4	19	1	5	9	8	11	7	8	0	49	3	8	3

(2) こころの健康講演会

目的：精神保健福祉や自殺対策への理解を促進するため、こころの健康づくりや精神疾患に関する講演会を開催する。

内容：こころと栄養 ～マインドフルに生きる～ 医師による講話

対象：一般市民

会場：富士市文化会館 ロゼシアター

参加人数：97人

(3) 人材養成研修 こころのゲートキーパー

目的：多くの市民が「こころのゲートキーパー」になることで、家庭、職場、地域など誰もが身近な人に関心を持ち、支え合う環境をつくることで自殺予防を図る。

内容：自殺の現状とこころの健康、こころのゲートキーパーの役割、DVD 視聴

実施状況：

(単位：回・人)

区分		年度	平成 30	令和元	2	3	4
実施回数			8	7	5	4	7
養 成 者 数	一般公募		28	13	14	9	27
	市職員		62	68	53	53	40
	民生児童委員		0	0	0	0	0
	健康推進員		283	0	100	0	266
	企業		0	3	0	21	22
	関係団体		38	48	8	0	0
	学生		38	38	0	41	0
合計			449	170	175	124	355

(4) うつ病家族講座

目的：うつ病またはうつ状態にある患者の家族等に対し、疾病の理解や家族同士の交流を行うことで、望ましい対応の習得やストレス等の軽減を図る。

内容：うつ病に関する講話(講師：精神科医師、臨床心理士)、グループトーク

会場：富士市フィランセ

実施状況： (単位：回・人)

区分 年度	回数	参加 実人数 (延人数)	内訳						
			20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
平成 30	1 コース 2 課	13(26)	2	1	1	5	3	1	0
令和元	1 コース 2 課	18(28)	0	2	6	5	4	1	0
2	開催中止	0(0)	0	0	0	0	0	0	0
3	開催中止	0(0)	0	0	0	0	0	0	0
4	1 コース 1 課	13	0	1	1	5	1	3	2

(5) 富士市自殺対策庁内連絡会・ワーキンググループ会議

目的：庁内の関係課等の密接な連携及び協力により、自殺対策を総合的に推進する。

内容：保健部長並びに庁内関係課 16 課の課長で構成される連絡会議と、その下部組織となる、実務を担う職員で構成されるワーキンググループ会議である。

実施状況：庁内連絡会兼ワーキンググループ会議：2 回

(6) 自殺対策全庁研修会

目的：ゲートキーパーの役割が求められる市の職員が、自殺の現状や相談窓口業務等について学び、支援が必要な市民に対し適切な対応が取れるようになる。

内容：各相談窓口担当課（ワーキングメンバー）が相談業務や相談事例等について講話

対象：市職員

参加人数：152 人 年 2 回開催

(7) 富士市自殺対策推進会議

目的：自殺対策計画案についての検討・協議し、計画策定を推進する。

内容：保健・医療・福祉・教育・雇用・司法・警察等の関係機関の団体の代表等 14 名で構成された委員による会議である。

実施状況：年 1 回開催

(8) 普及啓発

9 月の自殺予防週間、3 月の自殺対策強化月間に合わせてパネル展示、公道などでの横断幕・懸垂幕の掲出、公用車へのステッカー貼付を実施した。

(9) こころの体温計

自殺防止対策の一環として、パソコンや携帯電話を使って簡単にメンタルヘルスチェックができるシステムである『こころの体温計』『Fish Bowl Index(フィッシュボールインデックス)』を市民へ提供した。

『こころの体温計』アクセス数：

(単位：人)

区分 \ 年度	平成 30	令和元	2	3	4
市 民	22,973	20,716	20,791	19,175	21,902
未入力	8,732	7,933	10,528	8,623	9,581
市 外					
合計	31,705	28,649	31,319	27,798	31,483

『こころの体温計』モード別アクセス数(市民)：

(単位：人)

区分 \ 年度	平成 30	令和元	2	3	4
本人モード	13,180	11,519	11,857	11,124	12,240
家族モード	2,582	2,542	2,596	2,245	2,765
ストレスタイプ	3,163	3,094	3,324	2,753	3,295
アルコールチェック	1,759	1,839	1,821	1,702	2,078
赤ちゃんママチェック	1,032	861	664	676	775
いじめのサイン	1,257	861	529	675	749
合計	22,973	20,716	20,791	19,175	21,902

(10) 「一般医から精神科医への紹介システム」運営委員会 (事務局：富士市医師会)

目 的：一般医から精神科医に患者を紹介するためのシステムの効果的な運用を図る。

内 容：一般医、精神科医、行政関係課等で構成される計 18 人の会議。

紹介システム推進のための会議。

実施状況：年 1 回開催 ※令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

参考) 富士モデル事業(平成 19～21 年度まで、静岡県から都市部対策のモデル市として指定。協力実施)

事業名	概要
睡眠 キャンペーン	「パパ、ちゃんと眠れてる?」「2 週間以上の不眠はうつサイン」「2 週間以上の不眠はお医者さんへ」というキャッチコピーで、睡眠を切り口にうつ病の早期発見・早期治療を目指したキャンペーン
紹介システム	富士市医師会の協力のもと、一般医から専用紹介状を活用した精神科医への紹介

(11) 災害時こころのケア研修

目 的：被災者のメンタルヘルス支援が適切に行えるよう、災害支援に従事する市職員や関係者に対し、災害時のこころのケアに関する研修を実施し支援の方法を学ぶ。

内 容：PFA 研修 (サイコロジカル・ファースト・エイド研修)

精神科医師によるオンライン研修

対 象：市職員

参加人数：93 人 年 2 回開催

(12) SOSの出し方に関する教育

目 的：講話を通し、子どもが、現在起きている危機的状況、または今後起こり得る危機的状況に対応するために、適切な援助希求行動ができるようになること。また、身近にいる大人がそれを受け止め、支援ができるようになること。

内 容：ひとりで悩まないで ～SOS の出し方・受け方～ 市保健師等による講話

対 象：市内中学生

参加人数：414人 （市内中学校2校）

6 各種検(健)診事業

(1) 令和4年度 各種検(健)診一覧

検(健)診名・自己負担金	検(健)診内容	受診方法
生活保護受給者等健康診査 (40歳以上) ・無料	【必須健診項目】 問診、身長・体重及び腹囲の測定、BMIの測定、血圧測定、血液検査(肝機能検査〔GOT・GPT・γ-GTP〕、脂質検査〔中性脂肪・HDL-コレステロール・LDL-コレステロール〕、血糖検査〔空腹時血糖・ヘモグロビンA1c〕、腎機能検査〔クレアチン、尿酸〕、貧血検査〔赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値〕)、尿検査(尿糖・尿蛋白)、心電図検査 【詳細な健診項目】 眼底検査 対象者には保健指導を実施	・個別検診(実施医療機関へ申込) 実施期間 5月～2月10日
歯周病検診 (40・50・60・70歳) 300円	歯科医師による検診 歯科衛生士による検診結果説明	・集団検診(フィランセ内) 実施期間 7月～12月
肝炎ウイルス検診 〔肝がんリスク検診〕 (35歳以上の未受診者) ・健康診査と同時実施 1,000円(C型のみ700円) ・単独実施 1,400円(C型のみ1,100円) 健康増進事業個別勧奨対象者は無料	血液検査による ・B型肝炎ウイルス(HBs抗原)検査 ・C型肝炎ウイルス(HCV抗体)検査 (C型肝炎ウイルス(HCV抗体)検査のみの検査も可)	・集団検診(特定健診集団と同時実施) ・個別検診(実施医療機関へ申込) 実施期間 5月～2月
胃部エックス線検診 (50歳以上 2年に1回) ・集団検診 1,500円 ・個別検診 2,500円	バリウムを飲んで検査する 胃部エックス線直接撮影	・集団検診(地区まちづくりセンター等巡回) ・個別検診(実施医療機関へ申込) 実施期間 5月～2月
胃内視鏡検診 (50歳～69歳 2年に1回) ・個別検診 3,600円	胃内視鏡による検査	・個別検診(実施医療機関へ申込) 実施期間 5月～2月
胃がんリスク検診 (35～49歳) 1,000円	血液検査による、血清ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査、ペプシノゲン検査の結果の組み合わせで、胃がんリスクを判定する	・集団検診(特定健診集団と同時実施) ・個別検診(実施医療機関へ申込) 実施期間 5月～2月
大腸がん検診 (35歳以上) 700円(容器代300円含む) ・41歳のみ無料	問診 便潜血検査免疫法(2日法)	・集団検診(地区まちづくりセンター等巡回) ・個別検診(実施医療機関へ申込) 実施期間 5月～2月
肺がん検診 (アスベスト関連疾患含む) (35歳以上) ・胸部エックス線直接撮影 500円 ・喀痰検査 500円(容器代)	胸部エックス線直接撮影 喀痰検査 50歳以上で喫煙指数(1日の本数×年数)600以上の人が対象	・集団検診(地区まちづくりセンター等巡回) (実施医療機関へ申込) ・集団検診(特定健診集団と同時実施) 実施期間 5月～2月
子宮がん検診 (20～40歳は年1回 41歳以上は2年に1回) ・頸部がん 1,400円 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業のクーポン券対象者(21歳)は無料 ・体部がん含む 2,100円 ・HPV検査(31・36・41歳) +1,000円	〔頸部がん〕 問診・視診・子宮内分泌の細胞診検査 〔体部がん〕 不正性器出血、月経異常、褐色帯下などの症状がある者に対して、子宮内膜細胞診検査 〔HPV検査〕 細胞診検査においてHPVの有無を検査	・集団検診(フィランセ内検診車) ・個別検診(実施医療機関へ申込) 実施期間 5月～2月

検(健)診名・自己負担金	検(健)診内容	受診方法
乳がん検診 (40歳以上2年に1回) 1,700円 新たなステージに入ったがん検診の 総合支援事業のクーポン券対象者 (41歳)は無料	問診、マンモグラフィ(乳房エックス線 撮影)と視触診による検診	・集団検診(フィランセ内検診車) ・個別検診(実施医療機関へ申込) 実施期間 5月～2月
前立腺がん検診 (50歳以上) ・健康診査と同時実施 800円 ・単独実施 1,100円	血液検査による 前立腺がん腫瘍マーカーPSA値の測定	・集団検診(特定健診集団と同時実施) ・個別検診(実施医療機関へ直接申込) 実施期間 5月～2月
結核健康診断 (アスベスト関連疾患含む) (65歳以上) ・胸部エックス線直接撮影 無料	胸部エックス線直接撮影	・集団検診(地区まちづくりセンター等巡回) (実施医療機関へ申込) ・集団検診(特定健診集団と同時実施) 実施期間 5月～2月

(2)生活保護受給者等健康診査

目的：健康増進法第19条の2の規定に基づく健康診査を実施し、主として生活習慣病の発症を抑えるため、内臓脂肪がベースになって起こるメタボリックシンドロームを早期に発見し、保健指導に結びつけることにより、市民の健康を守るとともにそれに伴う事務等が円滑に行われることを目的とする。

実施状況：

ア 受診者数及び受診率 (単位：人・%)

年度	区分	※ ¹ 対象者数	受診者数	受診率
	平成30	男	555	69
女		413	54	13.1
合計		968	123	12.7
令和元	男	482	60	12.4
	女	363	44	12.1
	合計	845	104	12.3
※ ² 2	男	574	68	11.8
	女	392	42	10.7
	合計	966	110	11.4
※ ³ 3	男	616	66	10.7
	女	407	48	11.8
	合計	1,023	114	11.1
※ ³ 4	男	622	66	10.6
	女	426	60	14.1
	合計	1,048	126	12.0

※¹ 対象者数は、40歳以上の生活保護受給者から介護保険施設入所者等を除いた数

※² 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、健診開始時期の延期(7月～12月)

※³ 令和3年度、4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、健診実施期間の延期(5月～2月10日)

イ 健診結果の状況

(単位：人・%)

区分 年度	性別	高血圧症		脂質異常	糖尿病		※ 貧血	※ 肝疾患	うち アル コール 性	※ 腎機能 障害	たばこ	
		予備群	有病者	有病者	予備群	有病者					吸って いない	吸って いる
平成 30	男	7	44	43	30	18	22	19	12	6	36	33
	女	5	30	26	22	11	28	12	8	14	36	18
	合計	12	74	69	52	29	50	31	20	20	72	51
	割合	9.8	60.2	56.1	42.3	23.6	40.7	25.2	16.3	16.3	58.5	41.5
令和 元	男	2	36	33	30	11	23	20	12	7	28	31
	女	3	23	21	21	11	17	12	4	12	33	11
	合計	5	59	54	51	22	40	32	16	19	61	42
	割合	4.8	56.7	51.9	49.0	21.2	38.5	30.8	15.4	18.3	58.7	40.4
2	男	13	30	31	34	12	12	20	13	4	27	41
	女	5	16	20	15	6	4	9	2	1	32	10
	合計	18	46	51	49	18	16	29	15	5	59	51
	割合	16.4	41.8	46.4	44.5	16.4	14.5	26.4	13.6	4.5	53.6	46.4
3	男	8	30	34	26	17	6	27	23	5	34	32
	女	7	18	26	20	9	5	6	2	0	36	12
	合計	15	48	60	46	26	11	33	25	5	70	44
	割合	13.2	42.1	52.6	40.4	22.8	9.6	28.9	21.9	4.4	61.4	38.6
4	男	6	32	32	29	14	17	21	16	8	38	28
	女	14	21	22	17	12	10	10	5	2	43	17
	合計	20	53	54	46	26	27	31	21	10	81	45
	割合	15.9	42.1	42.9	36.5	20.6	21.4	24.6	16.7	7.9	64.3	35.7

※疑いを含む。

ウ 保健指導の状況（初回面接終了者）（単位：人）

区分 年齢性別		動機付け支援	積極的支援
平成 30	男	0	2
	女	1	0
	計	1	2
令和 元	男	2	4
	女	0	1
	計	2	5
2	男	7	1
	女	2	10
	計	9	11
3	男	0	0
	女	0	0
	計	0	0
4	男	1	4
	女	2	1
	計	3	5

(3) 歯周病検診

目的：食べる楽しみをいつまでも持ち続けられるよう、中高年以降における歯の喪失を予防する。
 対象：40歳・50歳・60歳・70歳の歯周疾患検診希望の者
 スタッフ：歯科医師、歯科衛生士
 実施回数：年13回
 実施状況：

ア 令和4年度受診状況及び受診結果

(単位：人・%)

年齢性別	区分	対象者数	受診者数	受診率	受診結果					
					異常なし	割合	要指導	割合	要医療	割合
40歳	男性	1,569	17	1.1	4	23.5	5	29.4	8	47.1
	女性	1,340	23	1.7	5	21.7	8	34.8	10	43.5
	計	2,909	40	1.4	9	22.5	13	32.5	18	45.0
50歳	男性	2,085	26	1.2	2	7.7	8	30.8	16	61.5
	女性	2,016	50	2.5	9	18.0	14	28.0	27	54.0
	計	4,101	76	1.9	11	14.5	22	28.9	43	56.6
60歳	男性	1,605	29	1.8	3	10.3	11	37.9	15	51.7
	女性	1,572	65	4.1	8	12.3	12	18.5	45	69.2
	計	3,177	94	3.0	11	13.8	23	24.5	60	63.8
70歳	男性	1,614	56	3.5	5	8.9	13	23.2	38	67.9
	女性	1,646	47	2.9	4	8.5	14	29.8	29	61.7
	計	3,260	103	3.2	9	8.7	27	26.2	67	65.0
合計	男性	6,873	128	1.9	14	10.9	37	28.9	77	60.2
	女性	6,574	185	2.8	26	14.1	48	25.9	111	60.0
	計	13,447	313	2.3	40	12.8	85	27.2	188	60.1

イ 令和4年度現在歯数、歯周炎の状況

(単位：本・人)

年齢	区分	性別	※ ¹ 現在歯数 (平均)	※ ² 健全歯数 (平均)	※ ³ 進行した歯周炎を有する人
40歳		男性	28.5	20.2	0
		女性	28.4	20.5	0
		合計平均	28.5	20.4	0
50歳		男性	26.7	17.4	4
		女性	28.0	15.3	1
		合計平均	27.6	16.0	5
60歳		男性	27.2	12.7	1
		女性	27.7	13.9	2
		合計平均	27.5	13.5	3
70歳		男性	25.5	13.0	3
		女性	26.5	11.0	3
		合計平均	26.0	12.1	6

※¹現在歯：歯の全部または一部が口腔内に現れているもの

※²健全歯：う蝕あるいは歯科的処置が認められないもの

※³進行した歯周炎：歯周疾患の検査であるCPI検査で6mm以上の深い歯周ポケットのあるもの

(4) 肝炎ウイルス検診

ア 対象者

- ① 当該年度において満 35 歳以上で未受診の者
- ② 当該年度において満 40 歳以上の者であって、過去に肝機能異常を指摘されたことのある者
- ③ 健康増進事業による個別勧奨対象者 (41 歳・46 歳・51 歳・56 歳・61 歳・66 歳)

イ 受診者数及び受診率(B型・C型肝炎ウイルス検査結果)

(単位：人・%)

区分 年度	※ ¹ 対象者数	受診者数				受診率	
		実施方法 ()内は再掲 ※ ² 無料受診券	合計	35～39 歳	40 歳以上		
平成 30	103,011	同時実施	748 (185)	3,759	281	3,478	3.6
		単独実施	620 (232)				
		がんドック検診	2,391				
令和元	101,933	同時実施	677 (175)	3,341	279	3,062	3.3
		単独実施	545 (183)				
		がんドック検診	2,119				
※ ³ 2	100,583	同時実施	356 (80)	928	172	756	0.9
	単独実施	572 (140)					
3	101,020	同時実施	675 (216)	1,294	217	1,077	1.3
		単独実施	619 (151)				
4	100,012	同時実施	546 (132)	1,317	234	1,083	1.3
		単独実施	771 (235)				

※¹ 対象者数：35 歳以上の肝炎ウイルス検診未受診者

※² 無料受診券は、健康増進事業による個別勧奨対象者が対象

※³ 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、検診開始時期の延期 (8 月 17 日～2 月 28 日)

ウ 肝炎ウイルス検診判定結果

(単位：人・%)

区分 年度	B型肝炎ウイルス検査 (HBs 抗原検査)			C型肝炎ウイルス検査 (HCV 抗体検査)		
	受診者数	「陽性」	感染者率	受診者数	「感染している 可能性が高い」	感染者率
平成 30	3,759	23	0.6	3,759	17	0.5
令和元	3,337	30	0.9	3,341	13	0.4
2	928	5	0.5	928	3	0.3
3	1,288	7	0.5	1,294	3	0.2
4	1,313	6	0.5	1,317	5	0.4

※ 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、検診開始時期の延期 (8 月 17 日～2 月 28 日)

(5)がん検診

ア 胃がん検診

(ア)受診者数(検診種類別)

(単位：人)

区分 年度	検診種類	受診者数			合計	※ ¹ 再掲 35～39歳
		検診方式				
		個別	集団	※ ² がندوق検診		
平成30	胃部エックス線検査	1,087	2,190		7,189	370
	胃内視鏡検査			2,383		
	胃がんリスク検診	1,319	204			
令和元	胃部エックス線検査	1,057	1,963		6,449	399
	胃内視鏡検査			2,112		
	胃がんリスク検診	1,144	173			
※ ³ 2	胃部エックス線検査	—	—		—	—
	胃内視鏡検査	—	—	—		
	胃がんリスク検診	—	—	—		
3	胃部エックス線検査	808	1,347		4,708	346
	胃内視鏡検査	1,363		—		
	胃がんリスク検診	1,190				
4	胃部エックス線検査	197	407		3,400	296
	胃内視鏡検査	1,914		—		
	胃がんリスク検診	882				

※¹ 令和元年度まで、35～39歳についても検診対象者として実施していた。

令和3年度から、胃部エックス線検診・胃内視鏡検診の検診対象者を50歳以上（胃内視鏡は69歳まで）隔年とした。

※² がندوق検診は令和元年度で終了した。

※³ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、胃部エックス線検査検診と胃内視鏡検診は中止

(イ)受診率(胃部エックス線検査・胃内視鏡検査)(50～69歳)

(単位：人・%)

区分 年度	対象者数	※ ¹ 推計 対象者 数	受診者数			※ ² 受診率 ()内は推計対象者数に対するもの			
			検診方法		計	再掲 2年連続 受診者	富士市	静岡県	全国
			胃部エックス線検査	胃内視鏡検査					
30	67,596	24,210	胃部エックス線検査	1,445	2,612	757	7.0 (19.5)	9.4 (25.7)	7.4 (19.8)
			胃内視鏡検査	1,167					
令和元	67,383	24,210	胃部エックス線検査	1,280	2,432	657	6.5 (18.1)	9.1 (24.3)	7.8 (18.7)
			胃内視鏡検査	1,152					
※ ³ 2	67,316	21,304	胃部エックス線検査	—	—	—	3.6 -	8.0 (26.2)	7.0 (19.6)
			胃内視鏡検査	—					
3	67,719	21,304	胃部エックス線検査	1,052	2,415	0	3.6 (11.3)	—	—
			胃内視鏡検査	1,363					
4	68,265	21,304	胃部エックス線検査	237	2,151	0	3.2 (10.1)	—	—
			胃内視鏡検査	1,914					

「がん対策推進基本計画」(平成24年6月8日閣議決定)及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成20年3月31日健康局長通知別添)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を50歳から69歳までとした。

※¹ 推計対象者数 50歳から69歳の人口-(就業者数-農林水産業従事者)

各係数は、直近の国勢調査報告の人数

※² 受診率 50歳から69歳までの胃部エックス線検査+内視鏡検査の受診率

{(前年度受診者数+当該年度受診者数-2年連続受診者数)/当該年度対象者数}×100

令和2年度以前は国公表値 令和3年度以降は暫定値

※³ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、胃部エックス線検診、胃内視鏡検診は中止

(ウ)精密検査受診結果(胃部エックス線検査)(50～74歳)

(単位：人・%)

年度		平成 30	令和元	2	3	4
区分						
受診者数		1,918	1,715	—	1,649	415
要精密検査数		198	105	—	122	27
要精検率	富士市	10.3	6.1	—	7.4	6.5
	静岡県	7.3	6.6	—	—	—
	国	—	—	—	—	—
精検受診者数		131	92	—	106	—
精検受診率	富士市	66.2	87.6	—	86.9	—
	静岡県	69.5	66.6	—	—	—
	国	—	—	—	—	—
がん発見者数	40(50)～74歳	2	2	—	2	—
	(再掲)受診者全体	6	2	—	3	—
がん発見率 (がん発見数÷受診者数×100)	富士市	0.10	0.12	—	0.12	—
	静岡県	0.068	0.050	—	—	—
	国	—	—	—	—	—
陽性反応適中度 (がん発見数÷要精密検査数×100)		1.01	1.90	—	1.64	—

※ 厚生労働省がん検診事業評価に関する委員会報告書「今後のわが国におけるがん検診事業評価の在り方について報告書」(平成20年3月)を参考に、50歳から74歳までとした。

※ 精密検査の受診結果は、地域保健・健康増進事業報告に合わせ、前年度分の把握とする。
令和2年度以前は国公表値 令和3年度以降は暫定値

(エ)精密検査受診結果(胃内視鏡検査)(50～74歳)

(単位：人・%)

年度		平成 30	令和元	2	3	4
区分						
受診者数		1,633	1,553	—	1,363	1,914
要精密検査数		42	41	—	28	31
要精検率	富士市	2.6	2.6	—	2.1	1.6
	静岡県	4.4	3.8	—	—	—
	国	—	—	—	—	—
精検受診者数		39	14	—	22	—
精検受診率	富士市	92.9	34.1	—	78.6	—
	静岡県	77.9	81.1	—	—	—
	国	—	—	—	—	—
がん発見者数	50～74歳	6	0	—	3	—
	(再掲)受診者全体	6	0	—	3	—
がん発見率 (がん発見数÷受診者数×100)	富士市	0.367	0	—	0.22	—
	静岡県	0.142	0.100	—	—	—
	国	—	—	—	—	—
陽性反応適中度 (がん発見数÷要精密検査数×100)		14.29	0	—	10.7	—

※ 「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成28年2月4日一部改正)により、平成28年度から、対策型検診に位置付けられた。指針を参考に、算定年齢は50歳から74歳とした。

※ 精密検査の受診結果は、地域保健・健康増進事業報告に合わせ、前年度分の把握とする。
令和2年度以前は国公表値 令和3年度以降は暫定値

※ 令和元年度まで、がんドック検診として実施。

イ 胃がんリスク検診

○検診内容

問診

血液検査 ①血清ペプシノゲン検査 ②血清ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査

○陽性判定基準：

検査項目数値	検査値
血清ペプシノゲン検査	PG I 値 70.0ng/ml 以下かつ PG I / II 比 : 3.0 以下
血清ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査	陽性 : 10U/ ml 以上

※血清ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査の陽性判定基準は、「3U/ ml 以上」から、令和4年度上記に変更した。

○総合判定：

総合判定 判定区分	精密検査不要		要精密検査		
	A群	B群	C群	D群	E群
ペプシノゲン検査	陰性	陰性	陽性	陽性	除菌歴のある人
ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査	陰性	陽性	陽性	陰性	

※要精密検査の判定区分は、A群からD群までであったが、平成29年度から上記のとおり「E群」を新設した。

(ア) 受診者数及び判定区分 (単位：人)

判定区分	令和元	2	3	4
A群	1,048	—	994	714
B群	115	—	105	108
C群	50	—	41	34
D群	8	—	20	8
E群	96	—	30	18
計	1,317	—	1,190	882

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(イ) 精密検査受診結果

(単位：人・%)

区分	年度				
	平成30	令和元	2	3	4
受診者数	1,523	1,317	—	1,190	882
要精密検査数	492	268	—	197	167
要精検率	30.9	20.3	—	16.6	18.9
精密受診者数	370	169	—	125	79
精検受診率	75.2	62.8	—	63.5	47.3
がん発見数	1	0	—	0	0
がん発見率 (がん発見数÷受診者数×100)	0.07	0	—	0	0
陽性反応適中度 (がん発見数÷要精密検査数×100)	0.20	0	—	0	0

ウ 大腸がん検診

(ア) 受診者数

(単位：人)

区分 年度	受診者数				
	検診方式			合計 ()内は※ ¹ 無料対象受診者	※ ² 再掲 35～39歳
	個別	集団	がندوقク検診		
平成 30	9,298	3,721	2,391	15,410 (162)	418
令和元	9,255	3,541	2,119	14,915 (125)	380
※ ³ 2	8,512	2,299	—	10,811 (93)	325
3	9,752	2,630	—	12,382 (209)	278
4	9,221	3,658	—	12,879 (182)	329

※¹ 無料対象受診者数 対象者 41 歳/全年齢の受診者

平成 28 年度：「がん検診推進事業」としての 41 歳、46 歳、51 歳、56 歳、61 歳の対象無料クーポンは終了となったが、無料対象者として継続実施

平成 29 年度以降：無料対象者として、41 歳のみを継続実施

※² 富士市では、35～39 歳についても検診対象者として実施している。

※³ 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、検診開始時期の延期（8 月 17 日～2 月 28 日）及び、集団検診の日程・会場の変更、予約枠の縮小、回数減

(イ) 受診率 (40～69 歳)

(単位：人・%)

区分 年度	対象者数	※ ¹ 推計 対象者数	受診者数	※ ³ 受診率 ()内は推計対象者数に対するもの		
				富士市	静岡県	全 国
				平成 30	105,316	30,622
令和元	105,213	30,622	7,738	7.4 (25.3)	8.6 (28.8)	7.7 (21.9)
※ ² 2	103,191	28,597	5,225	5.1 (18.3)	7.3 (28.1)	6.5 (20.4)
3	102,505	28,597	5,951	5.8 (19.4)	—	—
4	101,907	28,597	6,109	6.0 (21.4)	—	—

「がん対策推進基本計画」（平成 24 年 6 月 8 日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成 20 年 3 月 31 日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を 40 歳から 69 歳までとした。

※¹ 推計対象者数 40 歳から 69 歳の人口－(就業者数－農林水産業従事者)

各係数は、直近の国勢調査報告の人数。

※² 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、検診開始時期の延期（8 月 17 日～2 月 28 日）及び、集団検診の日程・会場の変更、予約枠の縮小、回数減

※³ 受診率 令和 2 年度以前は国公表値 令和 3 年度以降は暫定値

(ウ)精密検査受診結果(40～74歳)

(単位：人・%)

区分		年度	平成 30	令和元	2	3	4
受診者数			11,259	10,849	7,686	8,873	8,922
要精密検査数			641	591	429	440	411
要精検率	富士市		5.7	5.4	5.6	5.0	4.6
	静岡県		6.3	6.3	—	—	—
	国		—	—	—	—	—
精密受診者数			510	467	363	379	—
精検受診率	富士市		79.6	79.0	84.6	86.1	—
	静岡県		64.9	66.6	—	—	—
	国		—	—	—	—	—
がん発見者数	40～74歳		28	28	14	19	—
	(再掲)受診者全体		37	47	20	33	—
がん発見率 (がん発見数÷受診者数×100)	富士市		0.25	0.26	0.18	0.21	—
	静岡県		0.173	0.168	—	—	—
	国		—	—	—	—	—
陽性反応適中度 (がん発見数÷要精密検査数×100)			4.37	4.74	3.26	4.32	—

※ 厚生労働省がん検診事業評価に関する委員会報告書「今後のわが国におけるがん検診事業評価の在り方について報告書」(平成20年3月)を参考に、算定年齢は40歳から74歳とした。

※ 精密検査の受診結果は、地域保健・健康増進事業報告に合わせ、前年度分の把握とする。
令和2年度以前は国公表値 令和3年度以降は暫定値

エ 肺がん検診(アスベスト関連疾患検診を含む)

(ア)受診者数

(単位：人)

区分 年度	受診者数				
	検診方式 ()内は再掲 喀痰検査		再掲	合計	※ ² 再掲 35～39歳
	集団	がندوقク検診	※ ¹ アスベスト関連疾患検診		
平成 30	15,821(126)	2,377(0)	2	18,198	418
令和元	14,875(131)	2,103(0)	1	16,978	355
※ ³ 2	11,603(-)	—	7	11,603	263
3	8,773(121)	—	0	8,773	190
4	7,876(108)	—	2	7,876	161

※¹ 希望者に対して実施(再掲)

※² 富士市では、35～39歳についても検診対象者として実施している。

※³ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、検診開始時期を延期(8月17日～2月28日)し、喀痰検査を中止、事前予約制を導入のうえ、日程・会場を変更し、さらに回数減のうえで実施した。

(イ)受診率 (40～69 歳)

(単位：人・%)

区分 年度	対象者数	※ ¹ 推計 対象者数	受診者数	※ ³ 受診率 ()内は推計対象者数に対するもの		
				富士市	静岡県	全 国
平成 30	105,316	30,622	7,918	7.5 (25.9)	9.3 (31.4)	7.1 (20.1)
令和元	105,213	30,622	7,346	7.0 (24.0)	8.9 (29.7)	6.8 (19.2)
※ ² 2	103,191	28,597	4,420	4.3 (15.5)	7.5 (28.2)	5.5 (17.0)
3	102,505	28,597	3,629	3.5 (12.6)	—	—
4	101,907	28,597	3,220	3.2 (11.3)	—	—

「がん対策推進基本計画」(平成 24 年 6 月 8 日閣議決定)及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成 20 年 3 月 31 日健康局長通知別添)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を 40 歳から 69 歳までとした。

※¹ 推計対象者数 40 歳から 69 歳の人口-(就業者数-農林水産業従事者)

各係数は、直近の国勢調査報告の人数

※² 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、検診開始時期の延期(8 月 17 日～2 月 28 日)及び、喀痰検査の中止、事前予約制の導入、日程・会場の変更、回数減

※³ 受診率 令和 2 年度以前は国公表値 令和 3 年度以降は暫定値

(ウ)精密検査受診結果 (40～74 歳)

(単位：人・%)

区分 年度 種類	平成 30		令和元		2		3		4		
	胸部 X 線	喀痰 検査	胸部 X 線	喀痰 検査	胸部 X 線	喀痰 検査	胸部 X 線	喀痰 検査	胸部 X 線	喀痰 検査	
受診者数	11,611	84	10,859	88	7,178	—	5,863	96	5,130	55	
要精密検査数	219	0	237	0	100	—	304	0	169	0	
要精検 率	富士市	1.9	0	2.2	0	1.4	—	5.2	0	3.3	0
	静岡県	1.3	0.2	1.6	0	—	—	—	—	—	—
	国	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
精検受診者数	173	0	181	0	72	—	280	0	—	—	
精検受診 率	富士市	79.0	0	76.4	0	72.0	—	92.1	0	—	—
	静岡県	83.6	80.0	82.1	0	—	—	—	—	—	—
	国	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
がん発見 数	40～74 歳	0	0	2	0	3	—	6	0	—	—
	(再掲) 受診者全 体	1	0	6	0	8	—	9	0	—	—
がん発見 率 (がん発見数 ÷受診者数 ×100)	富士市	0	0	0.02	0	0.04	—	0.10	0	—	—
	静岡県	0.044	0.023	0.060	0	—	—	—	—	—	—
	国	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
陽性反応適中度 (がん発見数÷要精密検査数 ×100)	0	0	0.84	0	3.0	—	1.97	0	—	—	

※ 厚生労働省がん検診事業評価に関する委員会報告書「今後のわが国におけるがん検診事業評価の在り方について報告書」(平成 20 年 3 月)を参考に、算定年齢は 40 歳から 74 歳とした。

※ 精密検査の受診結果は、地域保健・健康増進事業報告に合わせ、前年度分の把握とする。

令和 2 年度以前は国公表値 令和 3 年度以降は暫定値

※ 令和 4 年度から、喀痰検査者数は 50～74 歳で喫煙指数が 600 以上の人のうち喀痰容器を配布した人数を計上

オ 子宮がん検診

(ア) 受診者数 (検診種類別)

(単位：人)

区分 年度	検診種類	医療機関		集団 (検診車)	受診者数		
		個別	一括		小計	合計	再掲 上段 ※ ¹ 頸がんクーポン券 下段 ※ ² HPV検査
平成 30	頸がん	5,993	78	1,134	7,205	8,408	74/396
	頸・体がん	1,203	0	—	1,203		809
令和元	頸がん	5,831	74	1,182	7,087	8,309	95
	頸・体がん	1,222	0	—	1,222		782
※ ³ 2	頸がん	5,045	17	946	6,008	6,925	66
	頸・体がん	917	0	—	917		697
3	頸がん	6,354	96	1,278	7,728	9,006	110
	頸・体がん	1,278	0	—	1,278		890
4	頸がん	6,261	25	955	7,214	8,194	81
	頸・体がん	953	0	—	953		830

受診間隔：20歳以上は年1回、41歳以上は隔年

※¹ 無料クーポン使用者数 対象者 21歳/全年齢の受診者

平成 27 年度以降：「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」

平成 27.28 年度：21 歳と 26 歳、31 歳、36 歳、41 歳で過去 5 年間未受診者が対象

平成 29 年度以降：21 歳のみとなったが、26 歳、31 歳、36 歳、41 歳で過去 5 年間未受診者も継続実施

令和元年度以降：21 歳のみを継続実施

※² HPV 検査対象者(31 歳・36 歳・41 歳)の HPV 検査受診者数

※³ 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、検診開始時期の延期(8 月 17 日～2 月 28 日)及び、集団検診の日程の変更、予約枠の縮小、回数減

(イ) 受診率(子宮頸がん検診)(20～69 歳)

(単位：人・%)

区分 年度	対象者数	※ ¹ 推計 対象者数	受診者数	再掲 2 年連続 受診者	※ ² 受診率 ()内は推計対象者数に対するもの		
					富士市	静岡県	全国
平成 30	76,620	28,163	7,825	1,369	18.3 (49.7)	17.9 (50.7)	16.0 (38.3)
令和元	76,408	28,163	7,585	1,340	18.4 (50.0)	17.4 (47.9)	15.7 (37.7)
※ ³ 2	74,738	24,953	6,416	1,221	17.1 (51.2)	17.1 (54.9)	15.2 (41.3)
3	74,149	24,953	8,235	1,273	18.0 (53.6)	—	—
4	73,257	24,953	7,492	1,399	19.6 (57.4)	—	—

「がん対策推進基本計画」(平成 24 年 6 月 8 日閣議決定)及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成 20 年 3 月 31 日健康局長通知別添)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を 20 歳から 69 歳までとした。

※¹ 推計対象者数 20 歳から 69 歳の人口-(就業者数-農林水産業従事者)
各係数は、直近の国勢調査報告の人数。

※² 受診率 20 歳から 69 歳までの子宮頸がん検診の受診率
{(前年度受診者数+当該年度受診者数-2 年連続受診者数)/当該年度対象者数} × 100
令和 2 年度以前は国公表値 令和 3 年度以降は暫定値

※³ 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、検診開始時期の延期(8 月 17 日～2 月 28 日)及び、集団検診の日程の変更、予約枠の縮小、回数減

(ウ)精密検査受診結果(子宮頸がん検診：20～74歳)

(単位：人・%)

年度		平成 30	令和元	2	3	4
区分						
受診者数		8,182	8,028	6,736	8,715	7,909
要精密検査数		210	288	244	265	177
要精検率	富士市	2.6	3.6	3.6	3.0	2.2
	静岡県	1.8	1.9	—	—	—
	国	—	—	—	—	—
精密受診者数		167	178	180	216	—
精検受診率	富士市	79.5	61.8	73.8	81.5	—
	静岡県	66.7	64.4	—	—	—
	国	—	—	—	—	—
がん発見者数	40～74歳	1	1	1	1	—
	(再掲)受診者全体	1	1	2	1	—
がん発見率 (がん発見数÷受診者数×100)	富士市	0.01	0.01	0.01	0.01	—
	静岡県	0.008	0.010	—	—	—
	国	—	—	—	—	—
陽性反応適中度 (がん発見数÷要精密検査数×100)		0.48	0.35	0.42	0.38	—

※ 厚生労働省がん検診事業評価に関する委員会報告書「今後のわが国におけるがん検診事業評価の在り方について(平成20年3月)」を参考に、算定年齢は20歳から74歳とした。

※ 精密検査の受診結果は、地域保健・健康増進事業報告に合わせ、前年度分の把握とする。
令和2年度以前は国公表値 令和3年度以降は暫定値

(エ)精密検査受診結果(子宮体がん検診：全年齢)

(単位：人・%)

年度		平成 30	令和元	2	3	4
区分						
受診者数		1,203	1,223	917	1,278	953
要精密検査数		10	21	9	13	12
要精検率		0.83	1.7	1.0	1.0	1.3
精検受診者数		9	9	7	8	10
精検受診率		90.0	42.9	77.8	61.5	83.3
がん発見数		2	2	1	1	5
がん発見率 (がん発見数÷受診者数×100)		0.02	0.16	0.11	0.08	0.52
陽性反応適中度 (がん発見数÷要精密検査数×100)		20.00	9.52	11.11	7.69	41.7

カ 乳がん検診

(ア) 受診者数

(単位：人)

区分 年度	検診方式			合計 (内は※ ¹ クーポン券)
	医療機関	集 団		
		フィランセ	検診車	
平成 30	2,312	—	2,613	4,925 (333/763)
令和元	2,421	—	2,492	4,913 (238)
※ ² 2	2,042	—	1,792	3,834 (211)
3	2,937	—	2,165	5,102 (284)
4	2,869	—	1,777	4,646 (253)

受診間隔：40歳以上隔年

※¹ 無料クーポン使用者数 対象者 41歳/全年齢の受診者

平成 27 年度以降：「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」

平成 27.28 年度：41歳全員と、46歳、51歳、56歳、61歳で過去 5 年間未受診者が対象

平成 29 年度以降：41歳のみとなったが、46歳、51歳、56歳、61歳で過去 5 年間未受診者も継続実施

令和元年度以降：41歳のみを継続実施

※² 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、検診開始時期の延期（8 月 17 日～2 月 28 日）及び、集団検診の日程の変更、予約枠の縮小、回数減

(イ) 受診率 (40～69 歳)

(単位：人・%)

区分 年度	対象者数	※ ¹ 推計 対象者数	受診者数	再掲 2 年連続 受診者	※ ² 受診率 (内は推計対象者数に対するもの)		
					富士市	静岡県	全 国
					平成 30	51,669	20,171
令和元	51,661	20,171	3,998	79	15.7 (40.3)	18.6 (48.0)	17.0 (38.1)
※ ³ 2	50,481	17,659	3,214	65	14.2 (40.5)	17.7 (53.7)	15.6 (40.4)
3	50,172	17,659	4,163	64	14.6 (41.4)	—	—
4	49,762	17,659	3,821	81	15.9 (44.8)	—	—

「がん対策推進基本計画」（平成 24 年 6 月 8 日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成 20 年 3 月 31 日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を 40 歳から 69 歳までとした。

※¹ 推計対象者数 40 歳から 69 歳の人口－（就業者数－農林水産業従事者）
各係数は、直近の国勢調査報告の人数

※² 受診率 40 歳から 69 歳までの乳がん検診の受診率
{(前年度受診者数+当該年度受診者数-2 年連続受診者数) / 当該年度対象者数} × 100
令和 2 年度以前は国公表値 令和 3 年度以降は暫定値

※³ 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、検診開始時期の延期（8 月 17 日～2 月 28 日）及び、集団検診の日程の変更、予約枠の縮小、回数減

(ウ)精密検査受診結果(40～74歳)

(単位：人・%)

区分		年度				
		平成 30	令和元	2	3	4
受診者数		4,660	4,578	3,637	4,751	4,315
要精密検査数		319	312	231	408	380
要精検率	富士市	6.8	6.8	6.4	8.6	8.8
	静岡県	6.0	5.8	—	—	—
	国	—	—	—	—	—
精密受診者数		314	303	224	376	—
精検受診率	富士市	98.4	97.1	97.0	92.2	—
	静岡県	82.4	84.5	—	—	—
	国	—	—	—	—	—
がん発見者数	40～74歳	18	13	21	22	—
	(再掲)受診者全体	18	16	21	22	—
がん発見率 (がん発見数÷受診者数×100)	富士市	0.39	0.28	0.58	0.46	—
	静岡県	0.226	0.241	—	—	—
	国	—	—	—	—	—
陽性反応適中度 (がん発見数÷要精密検査数×100)		5.64	4.17	9.09	5.39	—

※ 厚生労働省がん検診事業評価に関する委員会報告書「今後のわが国におけるがん検診事業評価の在り方について(平成20年3月)」を参考に、算定年齢は40歳から74歳とした。

※ 精密検査の受診結果は、地域保健・健康増進事業報告に合わせ、前年度分の把握とする。
令和2年度以前は国公表値 令和3年度以降は暫定値

キ 前立腺がん検診

(ア)受診者数及び受診率の推移

(単位：人・%)

区分 年度	対象者数	※ ¹ 推計 対象者数	受診者数				受診率 ()内は推計対象者数に 対するもの
			医療機関個別方式	医療機関一括方式	がんドック検診	合計	
平成 30	56,855	23,738	4,672	689	708	6,069	10.7 (25.6)
令和 元	57,602	23,738	4,810	695	636	6,141	10.7 (25.9)
※ ² 2	58,353	23,738	4,211	270	—	4,481	7.7 (18.9)
3	59,142	23,738	4,974	433	—	5,407	9.1 (22.8)
4	59,871	—	5,076	449	—	5,525	9.2 —

※¹ 推計対象者数 50歳以上男性の(人口-就業者数+農林水産業従事者-要介護4.5の認定者)により算定
各係数は、直近の国勢調査及び、同年の介護保険統計の人数

※² 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、検診開始時期の延期(8月17日～2月28日)

(イ)精密検査結果

(単位：人・%)

区分	年度	平成 30	令和元	2	3	4
受診者数		6,069	6,149	4,479	5,407	5,525
要精密検査数		476	465	355	444	538
要精検率		7.8	7.6	7.9	8.2	9.7
精検受診者数		354	378	268	320	374
精検受診率		74.4	81.3	75.5	72.1	69.5
がん発見数		14	15	13	13	3
がん発見率 (がん発見数÷受診者数×100)		0.23	0.24	0.29	0.24	0.05
陽性反応適中度 (がん発見数÷要精密検査数×100)		2.94	3.23	3.66	2.93	0.56

ク セレクトがん検診(再掲)

目的：平成 25 年度から実施していたレディース検診をより受診しやすい体制にするため、子宮頸がん検診、乳がん検診、及び結核・肺がん検診に胃がん検診及び大腸がん検診を追加し、希望する検診をセレクトして受診できるようにした。また、日曜日及び平日に開催することで、若い世代や就労女性のがん検診受診の促進を図る。

実施状況：

(単位：日・人)

区分	年度	平成 30	令和元	※ ² 2	3	4
日数		16 (内、平日 4)	17 (内、平日 6)	16 (内、平日 8)	20 (内、平日 9)	52 (内、平日 41)
※ ¹ 受診者数	子宮頸がん検診	1,133	1,104	890	1,211	887
	乳がん検診	949	1,120	816	1,113	1,676
	結核・肺がん検診	1,489	1,926	1,019	1,578	1,864
	胃がん検診	—	—	—	—	180
	大腸がん検診	—	—	—	—	1,243

※¹ レディース検診受診者は各検診に加算 レディース検診は令和 4 年度からセレクト検診に変更

※² 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、検診開始時期の延期（8 月 17 日～2 月 28 日）及び、日程の変更、予約枠の縮小、回数減

7 結核予防事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症予防法)に基づき、定期の健康診断を実施し、結核予防を図ることを目的とする。

(1) 結核健康診断

ア 受診者数及び受診率

(単位：人・%)

年度		平成 30	令和元	2	3	4
区分						
一次健診対象者数		71,426	72,119	72,881	73,439	73,907
受診者数計		12,920	12,067	8,623	6,302	5,690
内 訳	間接撮影	12,048	11,013	8,357	—	—
	直接撮影	872	1,054	266	6,302	5,690
受診率		18.1	16.7	11.8	12.8	7.7

イ 精密検査受診結果の推移

(単位：人)

年度		平成 30	令和元	2	3	4	
区分							
要精密検査数		218	350	87	177	370	
精密検査受診数		179	251	63	138	281	
精 密 検 査 結 果	結核	要医療	0	0	0	0	0
		要観察	0	0	0	0	0
		治癒型	0	0	0	0	0
	肺がん		3	6	4	3	6
	肺がんの疑い		13	16	4	2	15
	他悪性腫瘍		0	0	1	0	0
	その他の呼吸器疾患		54	152	26	115	197
	循環器疾患		10	0	1	3	3
	その他の異常陰影		5	5	14	3	3
	異常なし		92	70	13	12	63
結果不明		0	2	0	0	0	
精密検査未受診数		39	99	24	39	89	

ウ 結核発見状況

(単位：人)

年度		平成 30	令和元	2	3	4
区分						
受診者数		12,920	12,067	8,623	6,302	5,690
結核発見者数		0	0	0	0	0

(2) 結核患者の状況

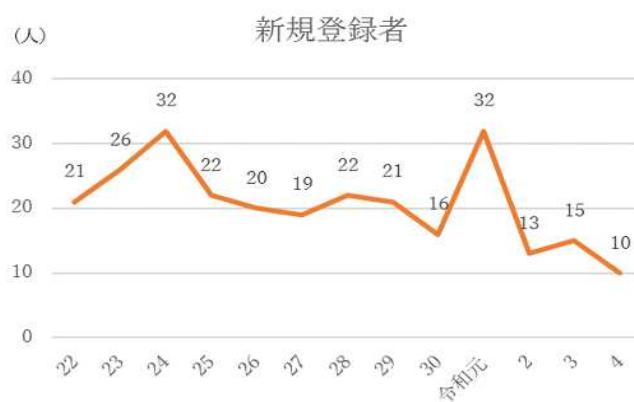
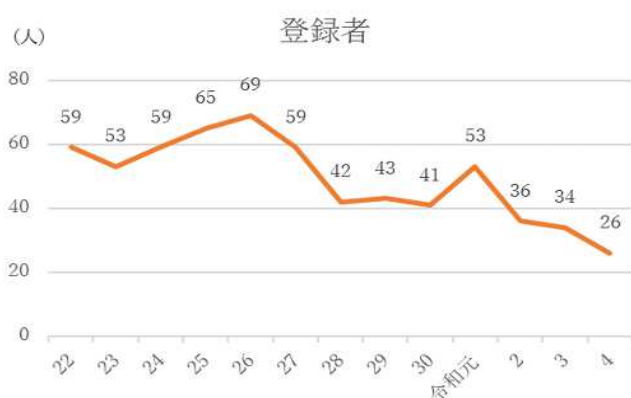
ア 結核患者登録数(新登録含)の年齢別推移

(単位：人・%)

年次 年齢	令和2				3				4			
	登録数	割合	新登録数	割合	登録数	割合	新登録数	割合	登録数	割合	新登録数	割合
0～ 29歳	1	2.8	0	0.0	3	8.8	2	13.3	4	15.4	0	0.0
30～ 59歳	14	38.9	1	7.7	11	32.4	2	13.3	7	26.9	3	30.0
60歳 以上	21	58.3	12	92.3	20	58.8	11	73.3	15	57.7	7	70.0
合計	36	100.0	13	100.0	34	100.0	15	100.0	26	100.0	10	100.0

資料) 静岡県富士保健所

イ 登録者及び新規登録患者の推移



ウ 健診機会別患者発見の状況 (単位：人・%)

健診機会	令和3		4	
	患者発見数	割合	患者発見数	割合
医療機関	12	80.0	8	80.0
定期住民健診	0	0.0	0	0.0
定期職場健診	3	20.0	2	20.0
定期施設健診	0	0.0	0	0.0
個別健診	0	0.0	0	0.0
登録中の健診	0	0.0	0	0.0
定期学校健診	0	0.0	0	0.0
接触者健診(家族)	0	0.0	0	0.0
接触者健診(その他)	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0
合計	15	100.0	10	100.0

※割合は小数点以下第2位を四捨五入 資料) 静岡県富士保健所

8 若年がん患者等支援事業

若年がん患者等が安心して生活できるように、経済的負担の軽減を目的とする。

「静岡県若年がん患者等支援事業費補助金交付要綱」、「静岡県小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法支援事業費補助金交付要綱」の定めるところにより、「富士市若年がん患者等妊孕性温存治療費補助金交付要綱」、「富士市がん患者医療用補整具購入費補助金交付要綱」、「富士市若年がん患者在宅療養生活費補助金交付要綱」に基づき実施する。

(1) 若年がん患者等妊孕性温存治療費補助金

目的：妊孕性温存治療及び温存後生殖補助医療を受けた若年がん患者等に対して、その治療費についての費用負担の軽減を図る。

ア 妊孕性温存治療

対象：43 歳未満で、がん等の治療により生殖機能を低下させる、又は失う恐れがあると医師に診断された者

内容：補助金の額は補助対象経費の額として、妊孕性温存治療の区分に応じて限度額の範囲であって、補助金の交付は1人2回までとする。

(ア) 小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法支援事業による補助を受けている場合

妊孕性温存治療		限度額
胚（受精卵）の凍結保存		50,000 円
未受精卵子の凍結保存		200,000 円

実施状況：

(単位：件)

区分 年度	補助金 交付件数	妊孕性温存治療	
		胚（受精卵）の凍結保存	未受精卵子の凍結保存
令和3	0	0	0
4	3	2	1

(イ) 小児AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法支援事業による補助を受けていない場合

妊孕性温存治療		限度額
精子凍結保存（精巣内精子採取術以外の方法による）		25,000 円
精巣内精子採取術による精子凍結保存		350,000 円
胚（受精卵）、未受精卵子又は卵巣組織凍結保存（卵巣組織の再移植を含む）		400,000 円

実施状況：

(単位：件)

区分 年度	補助金 交付件数	妊孕性温存治療		
		精子凍結 保存	精巣内精子採取術に よる精子凍結保存	胚（受精卵）、未受精卵子又は卵巣組織 凍結保存（卵巣組織の再移植を含む）
令和元	1	1	0	0
2	2	0	0	2
3	0	0	0	0
4	2	2	0	0

イ 温存後生殖補助医療

対 象：妻の年齢が43歳未満で、夫婦のいずれかが妊孕性温存治療を受けた場合であって、温存後生殖補助医療以外の治療法によっては妊娠の見込みがない又は極めて少ないと医師に診断された者

内 容：補助金の額は補助対象経費の額として、温存後生殖補助医療の区分に応じて限度額の範囲であって、補助金の交付は、40歳未満は1人6回まで、40～42歳は1人3回までとする。

温存後生殖補助医療	限度額
凍結した胚（受精卵）を用いた生殖補助医療	100,000円
凍結した未受精卵子を用いた生殖補助医療	250,000円
凍結した卵巣組織再移植後の生殖補助医療（体外受精による場合）	300,000円
凍結した卵巣組織再移植後の生殖補助医療（上記以外の場合）	10,000円
凍結した精子を用いた生殖補助医療（体外受精による場合）	300,000円
凍結した精子を用いた生殖補助医療（上記以外の場合）	10,000円

実施状況：

（単位：件）

区分 年度	補助金 交付件数	温存後生殖補助医療					
		凍結した胚 （受精卵）を 用いた生殖補 助医療	凍結した未 精子を用 いた生殖補 助医療	凍結した卵巣組織再移 植後の生殖補助医療		凍結した精子を用い た生殖補助医療	
				体外受精	他	体外受精	他
令和4	0	0	0	0	0	0	0

(2) がん患者医療用補整具購入費補助金

目 的：医療用補整具を購入したがん患者に対して、その購入費についての費用負担の軽減を図る。

対 象：がんと診断されがんの治療を受けている又は受けた者で、医療用補整具を購入した者

内 容：補助金の額は医療用補整具の購入に要する費用の合計額とし、医療用補整具の区分に応じ限度額の範囲であって、補助金の交付は1人1回限りとする。

医療用補整具	限度額	
医療用かつら	20,000円	
乳房補整具 （右欄のいずれかとする）	補整下着	20,000円
	人工乳房	100,000円

実施状況：

（単位：件）

区分 年度	補助金 交付件数	医療用補整具		
		医療用かつら	乳房補整具	
			補整下着	人工乳房
令和元	21	17	3	1
2	88	78	8	2
3	99	84	14	1
4	94	80	13	1

(3) 若年がん患者在宅療養生活費補助金

- 目的：在宅療養生活を営む若年がん患者に対して、日常生活に必要なサービスの利用についての費用負担の軽減を図る。
- 対象：40歳未満で、医師が医学的知見に基づき回復の見込みがないと判断した若年がん患者で、がん治療の治癒を目的とした治療を行わない者
- 内容：補助金の額は対象サービスの利用に要した費用から当該費用の10パーセントに相当する額（1円未満の端数切り捨て）を控除した額とし、限度額の範囲とする。

対象	サービス	限度額
(1) 20歳未満の者であって、小児慢性特定疾病児日常生活用具給付事業実施要綱による補助を受けている者	居宅サービス ・訪問介護 ・生活援助 ・乗降介助 ・訪問入浴介護	(月額) 45,000円
(2) 20歳未満の者（(1)に該当する者を除く）及び20歳以上40歳未満の者	居宅サービス ・同上	(月額) 45,000円
	福祉用具貸与	(月額) 27,000円
	福祉用具購入	45,000円

実施状況：

(単位：件)

区分 年度	補助金 交付件数	サービス			
		0歳～20歳未満 居宅サービス	20歳～40歳未満 居宅サービス	20歳～40歳未満 福祉用具貸与	20歳～40歳未満 福祉用具購入
令和元	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0
3	3	0	1	2	0
4	0	0	0	0	0

9 予防接種事業

予防接種事業は、伝染のおそれがある疾病の発病及び蔓延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的とする。

(1) 予防接種の種類と接種対象者及び方法

ア 集団接種

種類	対象年齢	標準的な接種年齢	接種方法	接種時期
B C G	1歳未満	5か月～8か月	B C G直接接種1回	通年(36回)

イ 個別接種

種類	対象年齢	標準的な接種年齢	接種方法
4種混合 〔ジフテリア・百日咳 ・ポリオ・破傷風〕	3か月～ 7歳6か月未満	3か月～ 7歳6か月未満	1期初回:20日～56日の 間隔で3回
		1期初回(3回)終了後 12か月～18か月	1期追加:1期初回終了後 6か月以上あけて1回
3種混合 〔ジフテリア・百日咳 破傷風〕	3か月～ 7歳6か月未満	3か月～ 7歳6か月未満	1期初回:20日～56日の 間隔で3回
		1期初回(3回)終了後 12か月～18か月	1期追加:1期初回終了後 6か月以上あけて1回
2種混合 (ジフテリア・破傷風)	11歳～13歳未満	2期:11歳～13歳未満	2期:1回
不活化ポリオ	3か月～ 7歳6か月未満	3か月～7歳6か月未満	20日以上の間隔で3回 終了後1年以上あけて1回
MR混合 (麻しん・風しん)	1期:1歳～2歳になる前日まで		1回
	行政措置:2歳～年中児		
	2期:5歳～7歳未満の年長児		1回
	行政措置:小学1年生～高校3年生相当で1度も接種していない人		
日本脳炎	6か月～ 7歳6か月未満 ※ ¹ 特例対象 平成19年4月1日以前生 まれの20歳未満	1期:6か月～ 7歳6か月未満 ただし3歳以上が望ましい	1期:6～28日の間隔で2回 終了後概ね1年後1回
	9歳～13歳未満	2期:9歳以降	2期:1回
ヒブ	2か月～5歳未満	2か月～5歳未満	4～8週間の間隔で3回 終了後7～13か月後に1回
小児肺炎球菌	2か月～5歳未満	2か月～5歳未満	27日以上の間隔で3回 終了後60日以上あけてかつ 1歳以上で1回
※ ² 子宮頸がん	小学6年生～高校1 年生相当の女子	中学1年生の女子	1回目から1～2か月後に1回、 1回目から6か月後に1回
水痘	1歳～3歳未満	1歳～3歳未満	1回目から最短3か月以上、標 準的には6か月～12か月まで の間隔で2回
B型肝炎	1歳未満	2か月～1歳未満	27日以上の間隔で2回 1回目終了後20週以上あけて 1回

種 類	対 象 年 齢	標準的な接種年齢	接 種 方 法
※ ³ ロタウイルス	出生 6 週 0 日後～24 週 0 日まで (1 価) または 32 週 0 日まで (5 価)	初回接種については 2 か月～出生 14 週 6 日 まで	27 日以上の間隔で 2 回 (1 価) または 3 回 (5 価)
高齢者 インフルエンザ	満 65 歳以上 60～65 歳未満で予防接種法で定められている人 (心臓、じん臓、呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人)		実施期間(10 月～2 月)1 回 自己負担：1,650 円
高齢者肺炎球菌	年度中に満 65・70・75・80・85・90・95 歳及び 100 歳になる人で過去に接種していない人 60～65 歳未満で予防接種法で定められている人 (心臓、じん臓、呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人)		1 人 1 回 自己負担：3,000 円
風しん第 5 期	S37. 4. 2～S54. 4. 1 に生まれた男性 抗体検査の結果、十分な抗体がなかった人		1 人 1 回

※¹ H23. 5. 20 積極的勧奨の差し控えにより接種できなかった人を特例対象者として、不足回数が接種可能となる。

※² H25. 6. 14 積極的勧奨の差し控えとなる。R3. 11. 26 積極的勧奨差し控え勧告が廃止される。

R 4. 4. 1 H9. 4. 2～H18. 4. 1 生まれの接種未完了者の女性を対象とした救済措置接種 (キャッチアップ接種) が開始となる。

※³ R2. 10. 1 定期接種となる。

ウ 任意接種

	種 類	対 象 年 齢	接 種 方 法
こども	こども インフルエンザ	1 歳～高校 3 年生相当年齢	1 歳～13 歳未満は 1 回 1,000 円 を 2 回まで助成 13 歳以上高校 3 年生相当年齢の 人は 1 回 1,000 円の助成 実施期間 10 月～2 月
	特別の理由に よる任意予防 接種	造血幹細胞移植その他の理由により定期予 防接種で接種した予防接種の効果が期待で きないと医師に判断された概ね 19 歳未満 の者 (予防接種の種類により上限年齢は異なる)	再接種にかかる費用を助成
	9 価 HPV ワ クチン任意予 防接種	HPV ワクチンの定期予防接種または キャッチアップ接種対象者であり、9 価 H PV ワクチン以外の HPV ワクチンの接種 を受けたことがない者	接種にかかる費用を一部助成 1 回の接種につき 17,464 円を 上限に 3 回まで
成 人	大人の風しん	抗体価の低い妊婦の同居者と妊娠を予定ま たは希望している女性とその同居者のう ち、風しん抗体価が低い者	MR ワクチン 5,000 円の助成 風しんワクチン 4,000 円の助成
高 齢 者	※ ⁴ 高齢者 肺炎球菌	年度中に 66 歳以上になる人で、定期接種 の対象者でなく、かつ過去に接種してい ない人	1 回の接種につき 3,000 円の 助成

※⁴ 令和元年度で終了

(2) 予防接種者実施状況

ア 定期予防接種

[]は行政措置接種の人数 (単位: 延人数・人)

種類		年度		平成 30	令和元	2	3	4
		B	C					
個 別	集団			1,802	1,644	1,597	1,564	1,475
				2	0	0	0	0
		※ ¹ MR混合 (麻しん風しん)	1 期	1,873 [16]	1,684 [16]	1,653 [12]	1,599 [16]	1,506 [9]
			2 期	1,960 [9]	1,948 [9]	1,917 [6]	1,906 [2]	1,777 [4]
			3 期	—	—	—	—	—
			4 期	—	—	—	—	—
		麻 し ん	1 期	0	0	0	0	0
			2 期	0	0	0	0	0
			3 期	—	—	—	—	—
			4 期	—	—	—	—	—
		風 し ん	1 期	1	0	0	0	0
			2 期	0	0	0	0	0
			3 期	—	—	—	—	—
			4 期	—	—	—	—	—
		4 種 混 合 (3 種混合/不活化ポリオ)		7,253	6,849	6,660	6,190	5,920
		3 種 混 合 (百日咳/ジフテリア/破傷風)		1	2	0	0	0
		日 本 脳 炎	幼 児	5,882	5,499	5,690	3,401	6,197
			学 童	2,901	2,667	2,689	708	3,228
		2 種 混 合 (ジフテリア/破傷風)		1,881	1,920	2,101	1,803	1,683
		ヒ ブ		7,137	6,540	6,594	6,214	5,909
		小 児 肺 炎 球 菌		7,140	6,650	6,513	6,218	5,924
		子 宮 頸 が ん		58	152	658	1,091	1,482
		子宮頸がん (キャッチアップ接種)		—	—	—	—	1,764
		水 痘		3,738	3,451	3,394	3,072	2,923
		B 型 肝 炎		5,224	4,857	4,822	4,577	4,353
		ロ タ ウ イ ル ス		—	—	1,780	4,165	4,030
		高 齢 者 イ ン フ ル エ ン ザ		32,350	34,310	42,086	36,703	37,697
	高 齢 者 肺 炎 球 菌		5,256	2,396	2,696	2,665	2,681	
	風しん5期	抗体検査	—	2,129	3,779	1,651	1,369	
		予防接種	—	574	997	559	407	

※¹MR未接種者に対して、行政措置として救済を行う

イ 任意予防接種

(単位: 延人数・人)

種類		年度		平成 30	令和元	2	3	4
		B	C					
こどもインフルエンザ (1歳~高3年生相当年齢)				25,472	27,817	27,527	20,933	19,400
特別の理由による任意予防接種				—	—	4	5	4
大人の風しん				568	429	348	331	335
※ ² 高齢者肺炎球菌				183	105	—	—	—

※²令和元年度で終了

(3) 予防接種接種率

ア 定期予防接種実施状況(令和4年度)

(単位：人・%)

区分	種類	ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ						ロタウイルス		結核	
		1 期初回			1 期追加			2 期 (2 種混合)	1 価	5 価	BCG
		4 種混合	3 種混合	2 種混合	4 種混合	3 種混合	2 種混合				
対象者数		1,468			1,557			2,192	1,468		1,468
被接種者数		1,467	0	0	1,479	0	0	1,679	304	1,131	1,472
接種率		99.9			95.0			76.6	97.8		100.3

区分	種類	MR 混合		日本脳炎			ヒブ	小児肺炎球菌	子宮頸がん	水痘	B 型肝炎
		1 期	2 期	1 期	1 期追加	2 期					
対象者数		1,626	1,922	—	—	—	1,468	1,468	1,112	1,557	1,468
被接種者数		1,496	1,770	1,747	2,776	3,094	1,456	1,454	422	1,421	1,397
接種率		92.0	92.1	—	—	—	99.2	99.0	37.9	91.3	95.2

イ (定期)高齢者インフルエンザ予防接種実施状況 <接種期間>10月~2月末日実施 (単位：人・%)

区分 年度	合計			※ ¹ 65 歳以上			※ ² 60~64 歳		
	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
平成 30	68,702	32,350	47.1	68,632	32,300	47.1	70	50	71.4
令和元	69,501	34,310	49.4	69,407	34,258	49.4	94	52	55.3
2	70,243	42,086	60.0	70,155	42,027	59.9	88	59	67.0
3	70,873	36,707	51.8	70,763	36,638	51.8	110	69	62.7
4	71,209	37,695	52.9	71,116	37,630	52.9	93	65	69.9

※¹ 65 歳以上の対象者数は、各年 10 月 1 日現在の人数

※² 予防接種法で定める 60 歳以上 65 歳未満の者

ウ (定期)高齢者肺炎球菌予防接種実施状況

(単位：人・%)

区分 年度	合計			※ ³ 65 歳以上			※ ⁴ 60~64 歳		
	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
平成 30	13,700	5,256	38.4	13,630	5,251	38.5	70	5	7.1
令和元	8,582	2,396	27.9	8,488	2,391	28.2	94	5	5.3
2	9,241	2,696	29.2	9,153	2,687	29.4	88	9	10.2
3	9,155	2,653	29.0	9,045	2,652	29.3	110	1	0.9
4	10,073	2,678	26.6	9,980	2,677	26.8	93	1	1.1

※³ 65 歳以上の対象者数は、その年度の予診票発送者数

※⁴ 予防接種法で定める 60 歳以上 65 歳未満の者

※上記ア・イ・ウの被接種者数は、地域保健・健康増進事業報告実績、及び予防接種実施状況調べに基づく。

なお、アの表中にある被接種者数は、「ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ/1 期」は 3 回完了した者、「ロタ 1 価」は 2 回完了した者、「ロタ 5 価」は 3 回完了した者、「日本脳炎/第 1 期初回」は 2 回接種した者、「ヒブ」および「小児肺炎球菌」は初回接種の 1 回目接種者「水痘」は 2 回完了した者、「B 型肝炎」は 3 回完了した者。「子宮頸がん」については、対象者は中学 1 年生の女子で、被接種者数は 3 回完了した者(キャッチアップ接種除く)。

エ (定期)風しん第5期抗体検査及び予防接種実施状況(人数)

(単位:人・%)

区分 年度	抗体検査			MR 予防接種		
	※ ¹ 対象者数	実施者数	実施率	※ ² 対象者数	被接種者数	接種率
令和元	15,105	2,129	14.1	1,617	574	35.5
2	18,659	3,779	20.3	1,998	997	49.9
3	26,292	1,651	6.3	2,815	559	19.9
4	24,812	1,369	5.5	2,657	407	15.3

※¹ 令和元年度は40～47歳、令和2年度は49～58歳。各10月1日現在の人数。

令和3年度以降は未検査勸奨対象者数。

※² 抗体検査対象者数×51%×21%

オ (任意)子どもインフルエンザ予防接種実施状況(人数)

(単位:人・%)

年度	区分	合計	(内訳)			市外 接種 (再掲)
			1歳以上 年長以下	小1～小6	中1～高3	
平成30	※ ¹ 対象者数	41,222	12,233	13,820	15,169	16
	被接種者数	17,674	6,599	6,096	4,979	
	接種率	42.9	53.9	44.1	32.8	
令和元	※ ¹ 対象者数	40,513	11,956	13,737	14,820	35
	被接種者数	18,799	7,071	6,480	5,248	
	接種率	46.4	59.1	47.2	35.4	
2	※ ¹ 対象者数	39,750	11,619	13,483	14,648	52
	被接種者数	18,670	7,086	6,602	4,982	
	接種率	47.0	61.0	49.0	34.0	
3	※ ¹ 対象者数	38,862	11,244	13,233	14,385	45
	被接種者数	13,610	5,407	4,816	3,387	
	接種率	35.0	48.1	36.4	23.5	
4	※ ¹ 対象者数	38,067	10,934	13,010	14,123	41
	被接種者数	12,915	4,472	4,738	3,705	
	接種率	33.9	40.9	36.4	26.2	

※¹ 対象者数は令和4年4月1日現在の人数。

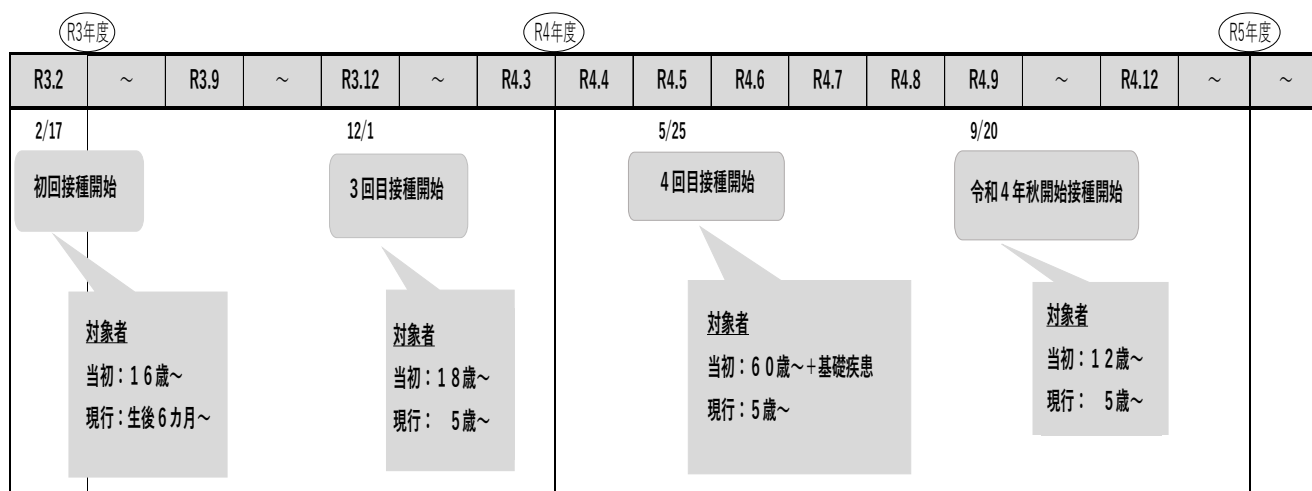
カ 新型コロナウイルス予防接種接種実績

静岡県作成データ

※上段：接種人数（人）、下段：接種率（%）

区分	対象人口（人） (R4.1.1時点)	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
全世代	250,279	207,329 82.70	205,936 82.14	178,034 71.01	123,446 49.24	60,010 23.94
65歳以上	70,776	66,556 94.04	66,433 93.86	64,967 91.79	59,324 83.82	47,452 67.05
64歳以下	179,933	140,773 78.24	139,503 77.53	113,067 62.84	64,122 35.64	12,558 6.98
うち小児	14,908	4,059 27.23	3,937 26.41	1,978 13.27	-	-
うち乳幼児	8,543	394 4.61	331 3.87	171 2.00	-	-

- ・ 集団接種 公共施設 5会場（フィランセ・ロゼシアター・ふじさんめっせ・ふじさんエコトピア・松野まちづくりセンター）
- ・ 個別接種 医療機関 73カ所



10 特定健康診査・特定保健指導

平成 20 年度から「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、市は医療保険者として、国民健康保険に加入する 40 歳から 74 歳までの被保険者を対象に、特定健康診査・特定保健指導を実施している。特定健康診査は、メタボリックシンドロームに着目した健診で、その結果から、生活習慣病の発症リスクがあり、生活習慣の改善の必要な方に対して、特定保健指導を行う。

国保年金課が特定健康診査を実施し、健康政策課は執行委任により特定保健指導を実施している。

(1) 特定健康診査

新型コロナウイルス感染症の影響により、健診期間を 12 月 10 日までから、2 月 10 日までに延長して実施した。

ア 実施方法

案内方法 : 受診券と案内を郵送(4月中旬)

自己負担額 : 500円

(ア) 個別健診 ○受診方法：直接医療機関に申し込み、結果は医療機関で受け取る

実施場所	実施期間	委託機関
市内 84 医療機関	5 月 1 日～2 月 10 日	富士市医師会
富士宮市内 42 医療機関	5 月 1 日～12 月 10 日	富士宮市医師会

(イ) 集団健診 ○受診方法：電話またはインターネットで申し込み、結果は郵送

委託機関	実施期間	実施回数	実施場所
富士市医師会	7 月～12 月	21	市内公共施設等 11 会場
	7 月 3 日	1	富士市医師会館(日曜日)
	1 月～2 月	9	富士市医師会館
共立蒲原総合病院	6 月～12 月	14	市内公共施設等 3 会場 共立蒲原総合病院健康診断センター
	5 月～12 月	7	市内公共施設等(土曜日)
	9 月 11 日	1	共立蒲原総合病院健康診断センター (日曜日)
	1 月	7	市内公共施設等 4 会場
清水厚生病院	7 月～9 月	10	市内農協支店等 10 会場

イ 受診状況(年度内 75 歳到達者・年度途中加入者を含む)

(単位：人・%)

年度 区分	平成 30	令和元	2	3	4
被保険者数	43,262	41,514	40,444	40,110	38,461
受診者数	14,690	14,119	11,622	12,633	12,449
受診率	34.0	34.0	28.7	31.5	32.4
目標受診率	36.0	37.0	39.0	35.0	38.0

※法定報告による実績 (R3) : 対象者 36,338 人、受診数 11,696 人、受診率 32.2%

(2) 特定保健指導

ア 実施方法 ※健康政策課実施分

対象 区分	個別健診等受診者	集団健診受診者
実施場所	フィランセなど	市内公共施設等 8会場
案内方法	健診受診日から概ね2か月後に「利用券」を郵送、電話確認後に実施。	健診受診日から概ね1か月後に「利用券」を郵送、電話確認後に実施。
開始時期	8月から	6月から
実施者	保健師 2人、管理栄養士 4人、看護師 1人	

イ 実施内容 ※健康政策課実施分

(ア) 動機づけ支援

- ・初回は面接で、グループ又は個別支援を実施する。集団健診会場においては、初回面接の分割実施をする。
- ・行動計画策定日から3か月以上経過後に面接又は通信により評価し、評価の結果を対象者に提供する。

(イ) 積極的支援

- ・初回は面接で、個別支援を実施する。集団健診会場においては、初回面接の分割実施をする。
- ・3か月以上の継続的な支援を実施し、行動計画策定日から3か月以上経過後に面接により評価し、結果を対象者に提供する。

ウ 実施状況

○初回面接終了者/()内は健康政策課・地域保健課の実施数

(ア) 動機づけ支援 (40~74歳対象)

(単位：人・%)

年度 区分	平成 30	令和元	2	3	4
対象数	1,220	1,157	958	1,015	978
実施数	511 (403)	494 (370)	407 (300)	451 (334)	422 (284)
実施率	41.9	42.7	42.5	44.4	43.1

(イ) 積極的支援 (40~64歳対象)

(単位：人・%)

年度 区分	平成 30	令和元	2	3	4
対象数	326	311	227	285	276
実施数	110 (88)	118 (93)	85 (71)	96 (64)	102 (68)
実施率	33.7	37.9	37.4	33.7	37.0

(ウ) 合算

(単位：人・%)

年度 区分	平成 30	令和元	2	3	4
対象数	1,546	1,468	1,185	1,300	1,254
実施数	621 (491)	612 (463)	492 (371)	547 (398)	524 (352)
実施率	40.2	41.7	41.5	42.1	41.8
目標実施率	38.0	39.0	40.0	45.0	48.0

※法定報告による実績 (R3) : 対象者 1,197人、実施数 490人、実施率 40.9%

(3)重症化予防事業

ア CKD(慢性腎臓病)対策

(ア) 富士市CKDネットワーク

目的：CKDを早期に発見し、適切な治療をすることで透析導入患者数を減らし、かつ心血管疾患の危険因子を減らす事を目的とする。健康診査等から早期にCKDリスクが高い人を見つけ、かかりつけ医と腎臓専門医が連携して治療にあたり、さらに関係機関が一体となって市民への啓発を行う体制と整える。(平成25年度発足)

- 目標：
 ・CKDの理解を深めること。
 ・CKDに対する適切な医療体制を整えること。
 ・上記を通して富士市における人工透析導入と心血管疾患発症の低減を図ること。

腎臓専門医への紹介基準：次の①～④のいずれかに該当するもの
①高度の蛋白尿(尿蛋白/Cr比 0.50g/gCr以上、または、+以上)
②尿蛋白±と血尿が+以上
③eGFR 45ml/分/1.73m ² 未満(40歳未満の若年者では eGFR 60ml/分/1.73m ² 未満)
④3か月で30%以上の腎機能の悪化を認める場合

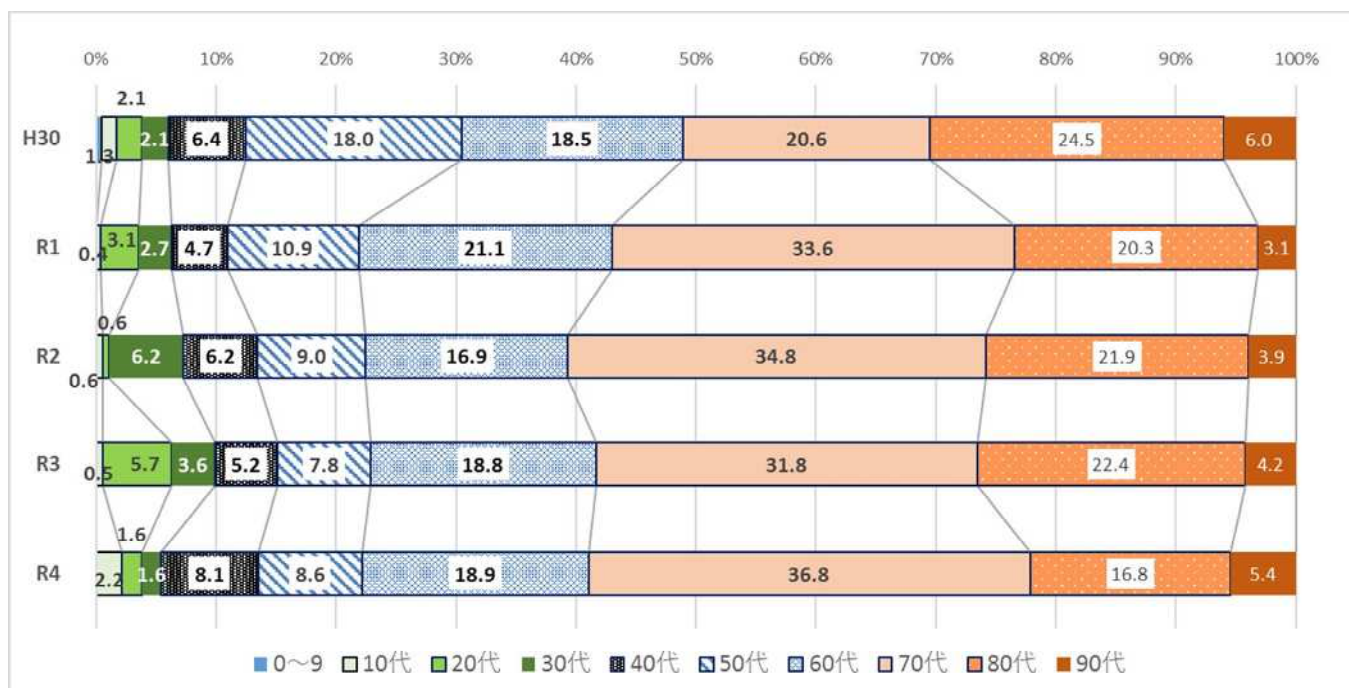
(イ) 病診連携数(かかりつけ医から腎臓専門医への紹介数)

(単位：人)

年度	平成30	令和元	2	3	4
紹介者数	275	301	213	225	206
富士市民	233	256	178	192	185
市外	42	45	35	33	11

※令和4年度は実績の把握方法が変更になっています。

○年齢別紹介件数割合(平成29～令和3年度・5ヵ年市民の集計) (単位：%)



○令和4年度紹介患者(富士市民)のGFR及び蛋白尿区分

(単位：人)

		蛋白尿区分			総計	
		A1(正常) 尿蛋白(-)	A2(軽度) 尿蛋白(±)	A3(高度) 尿蛋白(+)以上		
GFR 区分	G1	⇒90 ml/min/1.73 m ²	0	0	1	1
	G2	60～89 ml/min/1.73 m ²	4	5	18	27
	G3a	45～59 ml/min/1.73 m ²	36	4	15	55
	G3b	30～44 ml/min/1.73 m ²	17	4	21	42
	G4	15～29 ml/min/1.73 m ²	6	2	30	38
	G5	<15 ml/min/1.73 m ²	1	1	17	19
合計			64	16	102	182

*紹介時の検査データ 不明のものは集計から除く。

(ウ)普及啓発等活動実績

	内容	実施回数・参加数
広報活動	富士市ウェブサイト掲載	
	ふじニュース健康特別便 (3/10)	1回
市民啓発活動	富士市町内会長会での特定健診受診状況報告	27 地区町内会長
	特定健診未受診者訪問 (5月)	青葉台地区 164名
	フィランセ玄関、展示物 (3月)	
	市民向け講演会 3/19 (日)	31名
従事者研修等	糖尿病ネットワーク合同医師会会員向け研修会 1/26 (木)	62名
	特定健診業務説明資料配布 4/19 (火)	84 医療機関

(エ)CKDネットワーク運営委員会

目的：関係者並びに関係機関及び関係団体との協働によるCKD対策の推進のため、富士市CKDネットワーク運営委員会を設置する。

内容：医師会・聖隷富士病院・富士市立中央病院・国保年金課・地域保健課・健康政策課に所属する医師、看護師、保健師、地域連携担当者など計18人の委員による会議を年2回程度実施。

CKDネットワーク運営状況の確認、連携に必要な内容について、普及啓発事業の企画、事業評価についてなどについて検討する。

実施状況： (単位：回・人)

年度	区分	回数	参加延人数
平成30		2	32
令和元		2	33
	2	2	31
	3	2	33
	4	2	34

令和4年度の1回目は書面開催、2回目は糖尿病ネットワーク運営委員会と合同開催

イ 糖尿病対策

(ア) 富士市糖尿病ネットワーク

目的：糖尿病の早期発見及び重症化予防の取組みを推進し、糖尿病が原疾患となる人工透析をはじめとする合併症及び心血管疾患発症の予防を図る。（平成30年度発足）

内容：・富士市に在住する全ての糖尿病患者に対して、標準化された質の高い糖尿病診療が施されるための、連携クリティカルパスや医療機関の連携ネットワークを構築し医療体制を整える。

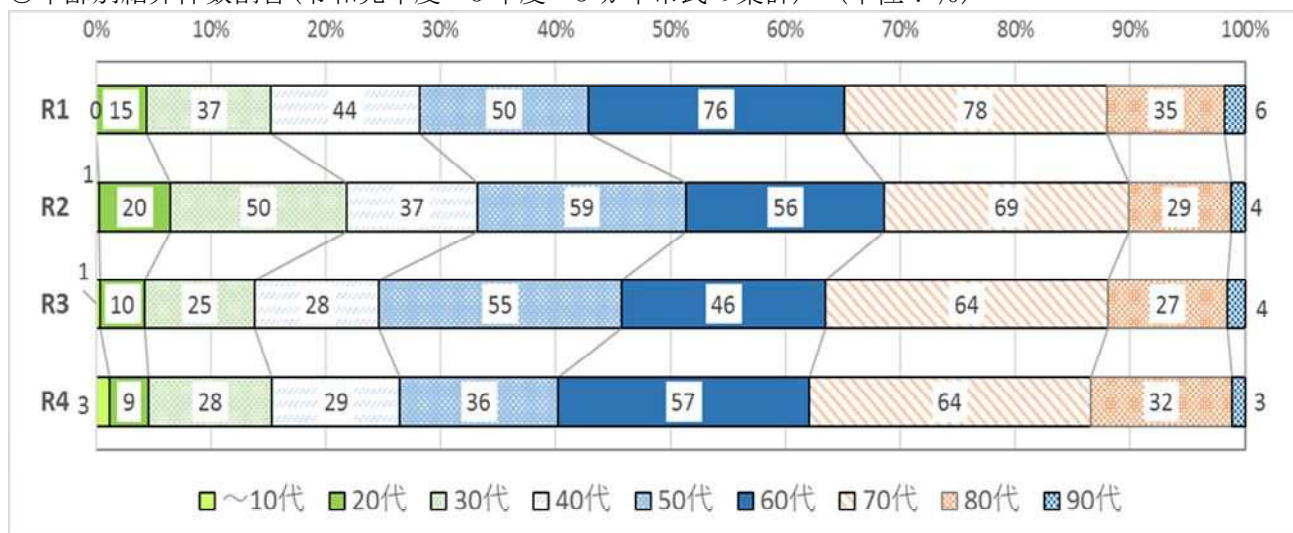
- ・糖尿病重症化のリスクが高い医療機関未受診者を医療に結びつける等、保健指導体制を整備し医療と保健の連携を推進する。
- ・糖尿病の予防及び重症化予防に対する市民の理解を深める。

(イ) 医療連携数(かかりつけ医から糖尿病専門診療医への紹介状況)

(単位：人)

年度 区分	令和元	2	3	4
紹介者数	377	355	286	288
富士市民	341	325	260	261
市外	36	30	26	27

○年齢別紹介件数割合(令和元年度～3年度・3ヵ年市民の集計) (単位：%)



○HbA1c 別紹介件数割合(令和元年度～4ヵ年市民の集計) (単位：人)

HbA1c 年度	令和元	2	3	4
～5.9%	8	38	12	11
6.0～6.9%	39	47	32	40
7.0～7.9%	64	37	23	45
8.0～8.9%	52	41	34	30
9.0%～	139	134	140	122
合計	302	297	241	248

* 紹介後の初診時に測定した検査データ 不明のものは集計から除く。

(ウ) 普及啓発活動実績

	内容	実施回数・参加数
広報活動	富士市ウェブサイト掲載	
	ふじニュース健康特別便 (11/11)	1 回
市民啓発活動	富士市町内会長会での特定健診受診状況報告	27 地区町内会長
	特定健診未受診者訪問 (5 月)	青葉台地区 164 名
	フィランセ玄関、展示物 (11 月)	
	富士川 SA 大観覧車ブルーライトアップ	11/14 (月) ~ 11/18 (金)
	市民向け講演会 11/6 (日)	20 名
従事者研修等	CKD ネットワーク行動医師会会員向け研修会 1/26 (木)	62 名
	特定健診業務説明資料配布 4/19 (火)	84 医療機関

(エ) 糖尿病ネットワーク運営委員会

富士市糖尿病ネットワーク運営委員会

目 的：関係者並びに関係機関及び関係団体との協働による糖尿病対策の推進のため、富士市糖尿病ネットワーク運営委員会を設置する。

内 容：医師会・富士市立中央病院・共立蒲原病院・国保年金課・地域保健課・健康政策課に所属する医師、看護師、保健師、地域連携担当者など計17人の委員による会議を年2回程度実施。糖尿病ネットワーク運営状況の確認、連携に必要な内容について、普及啓発事業の企画、事業評価についてなどについて検討する。

実施状況： (単位：回・人)

年度	区分	回数	参加延人数
平成30		2	28
令和元		2	30
	2	2	26
	3	2	31
	4	2	32

令和4年度の1回目は書面開催、2回目はCKDネットワーク運営委員会と合同開催

ウ 生活習慣病重症化予防の取組みについて

目的：国民健康保険の特定健診の受診者で受診勧奨値を含む者に対して、CKD の早期発見と重症化疾患（脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症）を予防するための受診勧奨と保健指導を実施する。

内容：データヘルス計画に基づき、国民健康保険の特定健診受診者で、3 疾患（高血圧、糖尿病、脂質異常）治療者を除き、CKD の早期発見と重症化疾患発症の共通リスクとなる以下の項目に該当する者に対し、「特定健診受診結果連絡票」を用いて受診勧奨を行う。
また、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じた上で、電話連絡をしてから訪問で受診勧奨を行う。訪問が難しい場合は電話と郵送での勧奨をし、検査値等により緊急度が高い場合には連絡なしでの訪問も検討する。

対象	
eGFR	45ml/分/1.73 m ² 未満
尿蛋白	＋以上
HbA1c	6.5%以上
空腹時血糖	126mg/dl 以上
随時血糖	200mg/dl 以上
血圧	160/100 mm Hg 以上 (140/90～159/99mmHg の脳心血管病に対する予後影響因子のある者は通知で実施)

【実施者】健康政策課及び地域保健課：管理栄養士、保健師

(ア) 受診勧奨実績

(単位：人・%)

	対象者	受診勧奨者数	受診勧奨方法 内訳					受診勧奨実施率	*受診勧奨後レセプト確認結果		
			当日	訪問	来所	電話	手紙		対象者数	受診者数	受診率
糖尿病	100	100	2	15	11	65	7	100	100	46	46.0
CKD	201	201		23	24	142	12	100	201	93	46.3
高血圧	186	186	21	28	8	112	17	100	186	64	34.4
計	487	487	23	66	43	319	36	100	487	203	41.7

(イ) 特定健診受診結果連絡票活用状況

(単位：人・%)

	糖尿病	CKD	高血圧	合計	割合	備考	
受診勧奨実施数	100	201	186	487			
連絡票配布数	57(57.0)	106(52.7)	83(44.6)	246	50.5	対受診勧奨者数	
医療機関からの返信数	34	70	46	150	61.0	対配布数	
受診結果 内訳 (再掲)	要治療	25	21	34	80	53.3	対返信数
	経過観察	8	25	11	44	29.3	
	異常なし	1	24	1	26	17.3	
保健指導依頼 (病院実施分)	29(5)	65(5)	43(3)	137(13)	91.3(8.7)		
保健指導実施	29	64	43	136	99.3	対市指導依頼数	

(ウ) 収縮期血圧 140～159 mm Hg、または拡張期血圧 90～99 mm Hg のハイリスク者*への手紙による受診勧奨

①1/11 175 通 ② 3/8 151 通

*ハイリスク者は喫煙者、中性脂肪 150 mg/dl 以上、HDL40 mg/dl 未満、LDL140 mg/dl 以上の者
(高血圧治療ガイドライン 2019 脳心血管病に対する予後影響因子参照)

【(ア) (イ) (ウ) は令和 4 年実施分 R4.1 月～12 月訪問】 (R5.5.29 時点)

1.1 令和4年度フイランセ室別利用回数(日数)及び利用者数

開館時間：午前9時00分～午後9時30分
 休館日：毎月第3日曜日、国民の休日、年末年始
 年間開館日数：332日 年間利用人数：100,847人
 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止と、新型コロナウイルスワクチン接種事業のため、令和2年4月1日より、一部を除き貸館業務を停止して
 る。

フイランセ西館				フイランセ東館			
階	利用室名	利用回数 又は日数	利用人数	階	利用室名	利用回数 又は日数	利用人数
1階	健康増進ホール (医療資材置場に転用)	0	0	1階	福祉相談室	※243	557
	母子相談室	676	1,769		ユニバーサル就労支援センター	※243	2,385
	骨の相談室	83	1,084		社会福祉協議会 (相談室等)	※243	1,705
	相談室・栄養相談室	487	523		ハローワーク富士マザーズコーナー	※243	3,543
	診察室 (医療資材置場に転用)・検査室	0	0		ふれあい喫茶	※218	5,000
2階	歯科検診室	130	4,026	ふくし学習室	2	34	
	健康診査室1・2	225	13,330	ふくし体験室	2	34	
	保健指導室	12	380	ふくし調理室	0	0	
	調理実習室	8	161	ことばの相談室	※243	1,281	
	乳がん検診室	74	1,676	成年後見支援センター (面接室)	※243	1,649	
3階	視聴覚室	3	298	ボランティア関連 (点訳・朗読・録音含む)	※243	4,838	
	会議室1 (事務所に転用)	0	0	福祉団体活動室	※332	2,592	
	会議室2 (事務所に転用)	0	0	プレイルーム	※243	9,933	
	和室 (事務所に転用)	0	0	おもちゃ図書館	※84	854	
4階	団体連絡室・研修室	0	0	育児研修室・相談室	※243	1,275	
	大ホール (新型コロナウイルスワクチン接種会場)	266	41,920				
小計			65,167	小計			35,680
フイランセ			100,847	フイランセ			100,847

ア 西館 室別利用回数及び利用者数

(単位：回(日)・人)

階	室名	年度	保健センター事業					その他の事業					合計													
			利用回数(日数)			利用者数	利用回数(日数)			利用者数	利用回数(日数)			利用者数	利用回数(日数)			利用者数								
			午前	午後	夜間		計	午前	午後		夜間	計	午前		午後	夜間	計									
1階	健康増進ホール	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母子相談室	令和3	345	339	0	684	1,851	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	354	322	0	676	1,769	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	骨の相談室	令和3	20	16	0	36	692	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	51	32	0	83	1,084	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談室・栄養相談室	令和3	186	167	0	353	706	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	264	223	0	487	523	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	診察室・検査室	令和3	118	93	1	212	424	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科検診室	令和3	8	116	0	124	4,146	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	13	117	0	130	4,026	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2階	健康診査室1・2	令和3	71	127	0	198	13,059	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	100	125	0	225	13,330	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保健指導室	令和3	13	2	0	15	446	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	12	0	0	12	380	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	調理実習室	令和3	10	12	0	22	515	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	8	0	0	8	161	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳がん検診室	令和3	38	38	0	76	2,096	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	37	37	0	74	1,676	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	視聴覚室	令和3	5	4	0	9	227	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	3	0	0	3	298	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議室1	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
会議室2	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
和室	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
団体連絡室・研修室	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4階 大ホール	合計	令和3	75	82	163	320	61,742	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	72	64	130	266	41,920	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	合計	令和3	889	996	164	2,049	85,904	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	914	920	130	1,964	65,167	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

イ 東館 室別利用回数及び利用者数

※は利用日数 (単位：回(日)・人)

階	室名	年度	保健センター事業					その他の事業					合計				
			利用回数(日数)					利用回数(日数)					利用回数(日数)				
			午前	午後	夜間	計	利用人数	午前	午後	夜間	計	利用人数	午前	午後	夜間	計	利用人数
1階	福祉相談室	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,503
		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	557
	ユニバーサル就労支援センター	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,256
		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,385
	社会福祉協議会(相談室等)	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	877
		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,705
	ハローワーク富士	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,360
		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,543
	マザーズコーナー	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ふれあい喫茶	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2階	ふくし学習室	令和3	0	0	0	0	0	8	8	1	17	287	8	8	1	17	287
		4	0	0	0	0	0	0	2	2	34	0	2	0	2	34	
	ふくし体験室	令和3	0	0	0	0	0	8	8	1	17	287	8	8	1	17	287
		4	0	0	0	0	0	0	2	2	34	0	2	0	2	34	
	ふくし調理室	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ことばの相談室	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,113
		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,281
	成年後見支援センター(面接室)	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,051
		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,649
ボランティア関連(点訳・朗読・録音含)	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,754	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,838	
福祉団体活動室	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,429	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,592	
プレイルーム	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,057	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,933	
おもちゃ図書館	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	498	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	854	
育児研修室・相談室	令和3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,473	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,275	
合計	令和3	0	0	0	0	0	16	16	2	332	26,945	16	16	2	332	26,945	
	4	0	0	0	0	0	0	4	4	332	35,680	0	4	0	332	35,680	